

2020年3月期

# 決算説明会

---

2020年4月27日

SBテクノロジー株式会社

証券コード 4726

---

<b>1. 業績概況</b>	.....	<b>P. 2</b>
<b>2. 中期計画の進捗</b>	.....	<b>P. 13</b>
<b>3. 各ソリューションの概況</b>	.....	<b>P. 24</b>
<b>4. 数値データ</b>	.....	<b>P. 30</b>
<b>5. 会社情報</b>	.....	<b>P. 41</b>

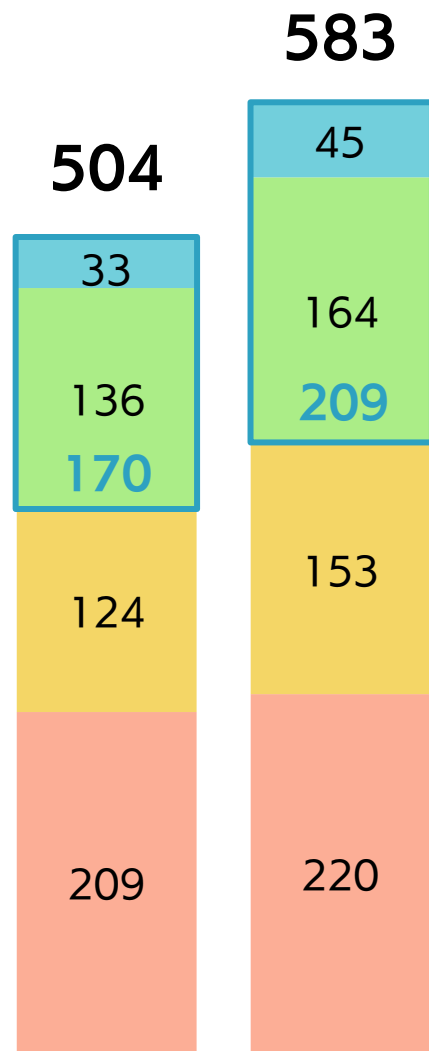
# 業績概況

SB Technology

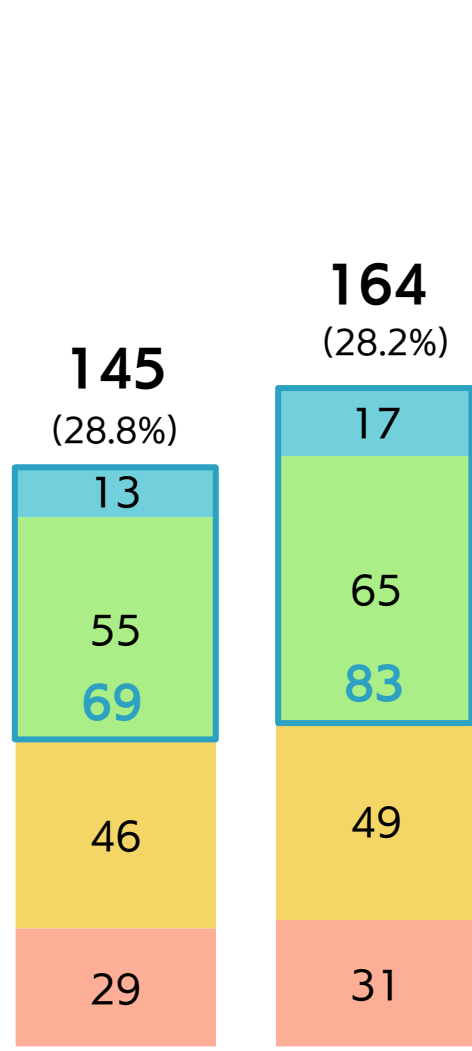
- 全ての指標について業績予想を超えて着地、営業利益は前期比20%成長を達成
- 前期に一時的な営業外損失の計上があったため、経常利益と純利益は約1.3倍

〔百万円〕	(利益率)	FY19	FY18	増減額	増減率	業績予想	進捗率
売上高	過去最高	58,324	50,430	+7,894	+15.7%	54,000	108.0%
営業利益	過去最高	3,035 (5.2%)	2,513 (5.0%)	+522 (+0.2pt)	+20.8%	3,000 (5.6%)	101.2%
経常利益	過去最高	3,033 (5.2%)	2,291 (4.5%)	+741 (+0.7pt)	+32.4%	2,900 (5.4%)	104.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	過去最高	1,856 (3.2%)	1,386 (2.8%)	+469 (+0.4pt)	+33.8%	1,700 (3.1%)	109.2%

## 売上高



## 限界利益



- BIT+CIT構成比率 33.8%⇒35.9%
- BITとCITの増収が増益に大きく貢献

### ビジネスIT (BIT)

農水省の電子申請基盤開発案件により増収  
グローバル製造業向けクラウド案件も拡大

### コーポレートIT (CIT)

クラウド開発が大幅に拡大、自社サービスやセキュリティ運用監視サービスも増加

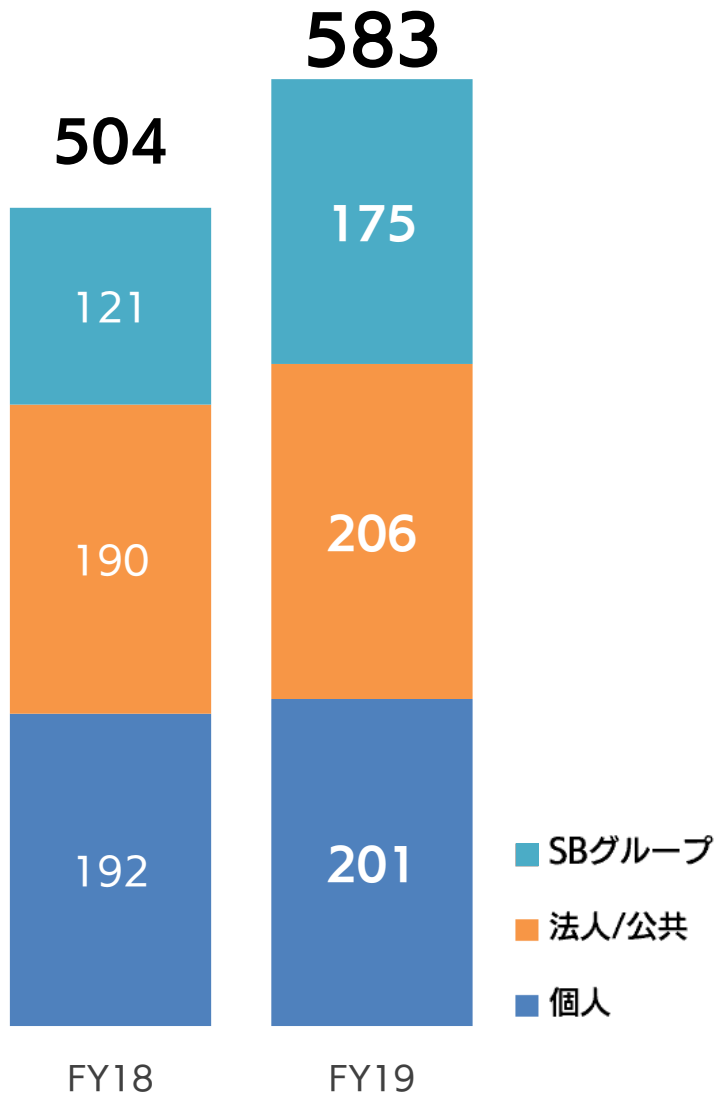
### テクニカル (TS)

ソフトバンク向けのベンダーマネジメント案件がQ3より開始、運用案件も堅調に推移

### EC

ノートンストア運営代行ビジネスが堅調に推移

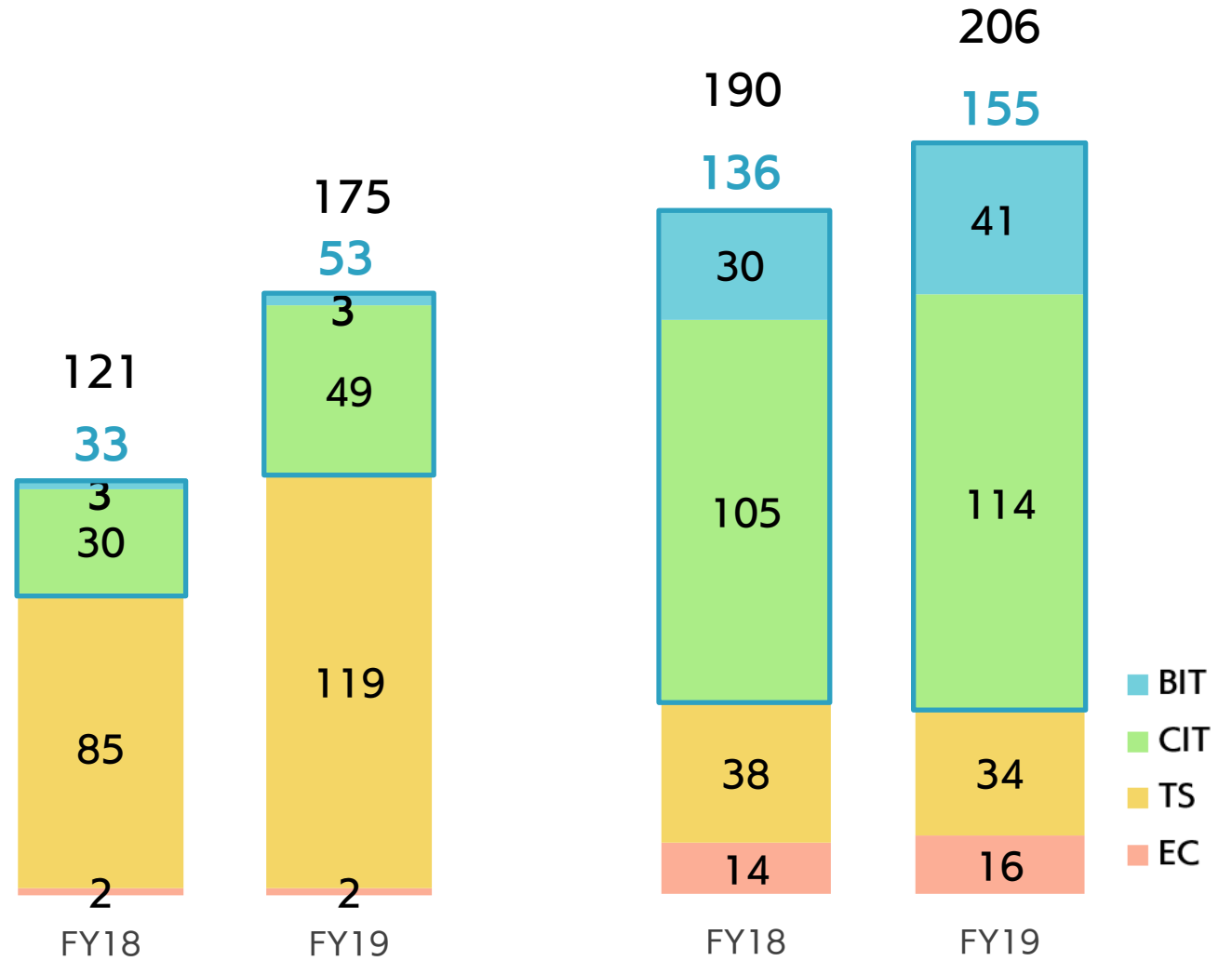
顧客別



顧客別 × ソリューション区分

SBグループ

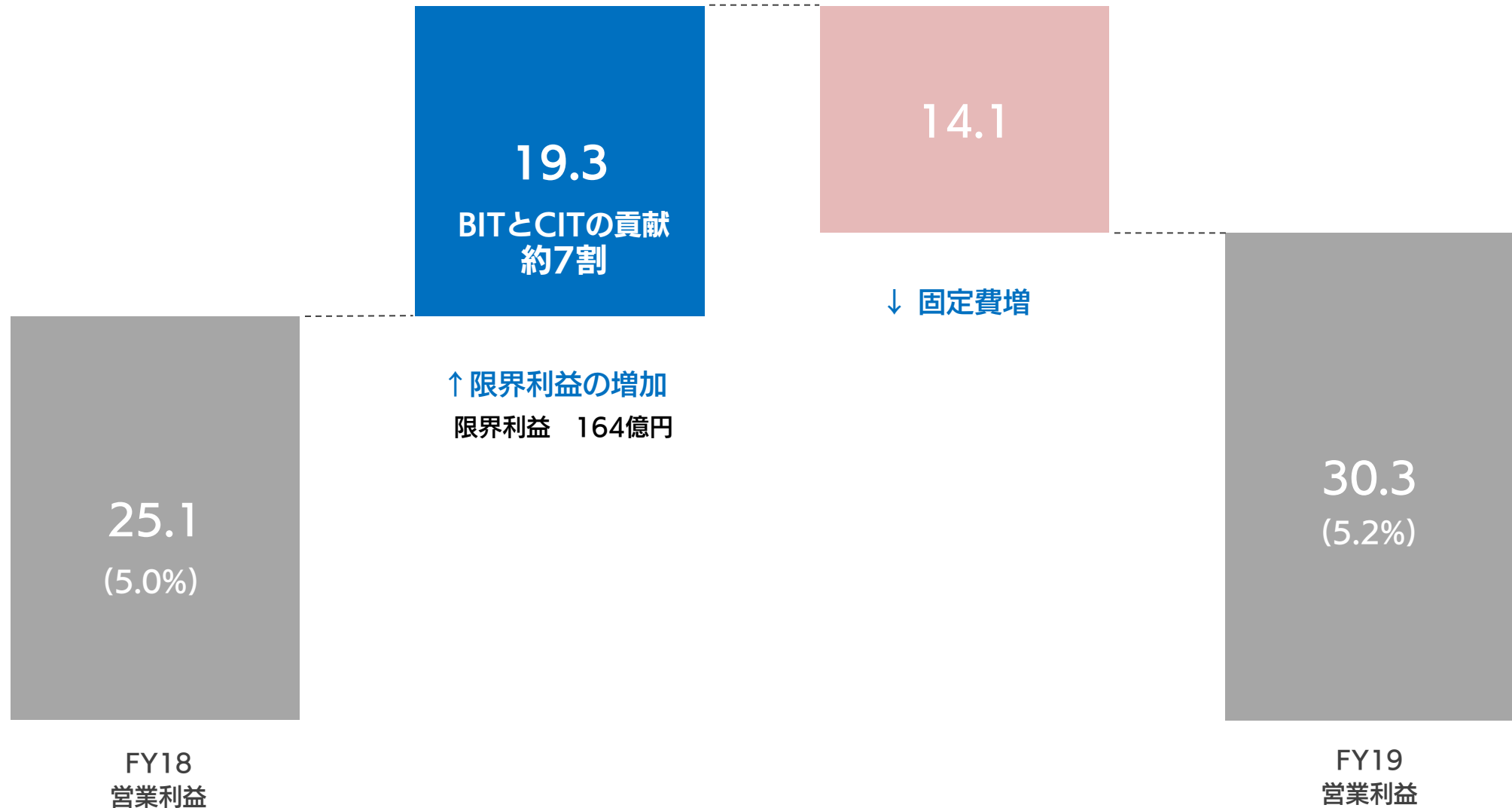
法人/公共



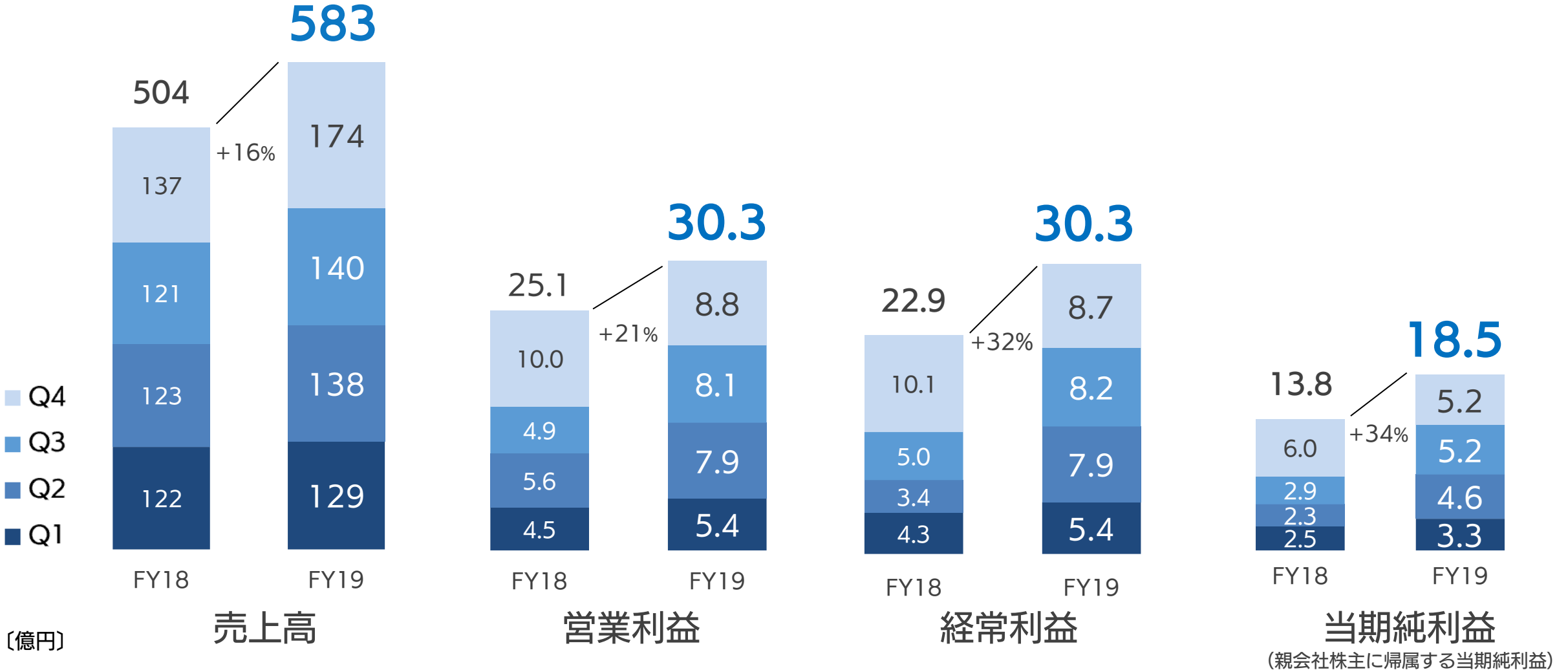
〔億円〕

※個人顧客のソリューション区分は全てECとなります。

- 社員数の増加、ベースアップ等により固定費が増加
- 増収効果により限界利益が増加し、営業増益



- ソフトバンク向けのベンダーマネジメント案件、進行基準案件等で売上が伸長
- 電子申請基盤案件を横展開可能な形にするため開発スコープを拡大し、費用増大





# 当期における重要意思決定（電子申請基盤の開発スコープ拡大）

2015年4月

農地台帳及び地図の公表 義務化

2019年12月

デジタルガバメント実行計画改定

政府では2025年3月までに

行政手続きの**9割**を電子化予定

紙からデジタルへの  
需要拡大に向けた検討

国民向けサービスの  
デジタル化支援の加速を判断

大きな機会  
意義ある挑戦

2019年8月

農林  
水産省

電子申請  
第1号案件  
落札

農林  
水産省

省庁B

省庁C

全国農地ナビ

紙の台帳 → デジタル化

電子申請基盤

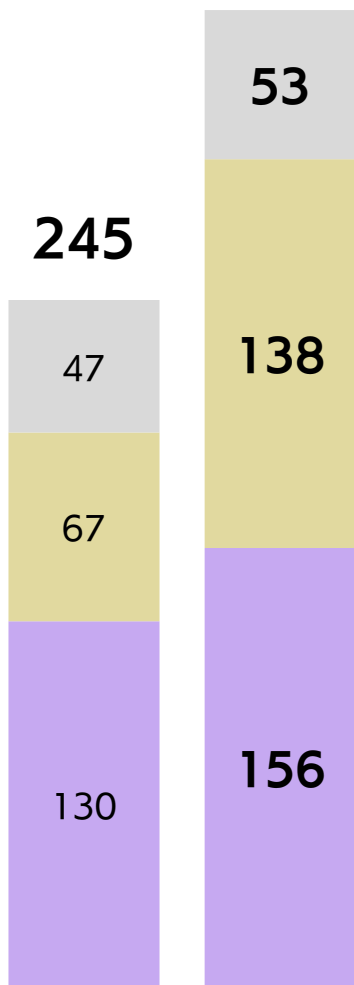
クラウド基盤

横展開できる基盤へ先行投資3.1億円

効率的な横展開

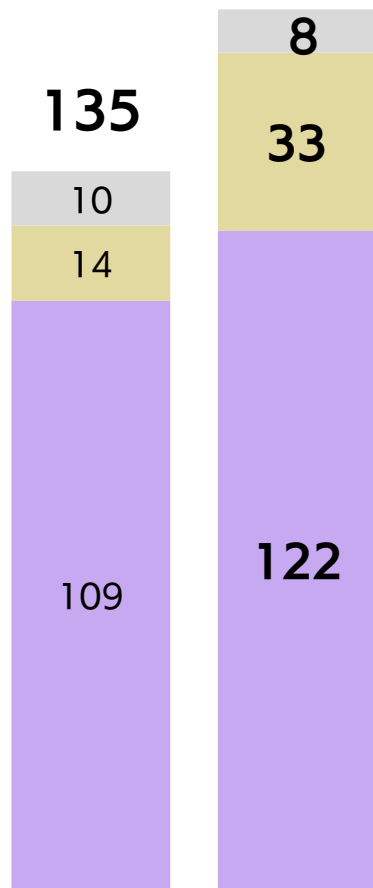
受注高

過去最高  
348



受注残高

過去最高水準  
163



単体受注残高(前期比)

21.4%増

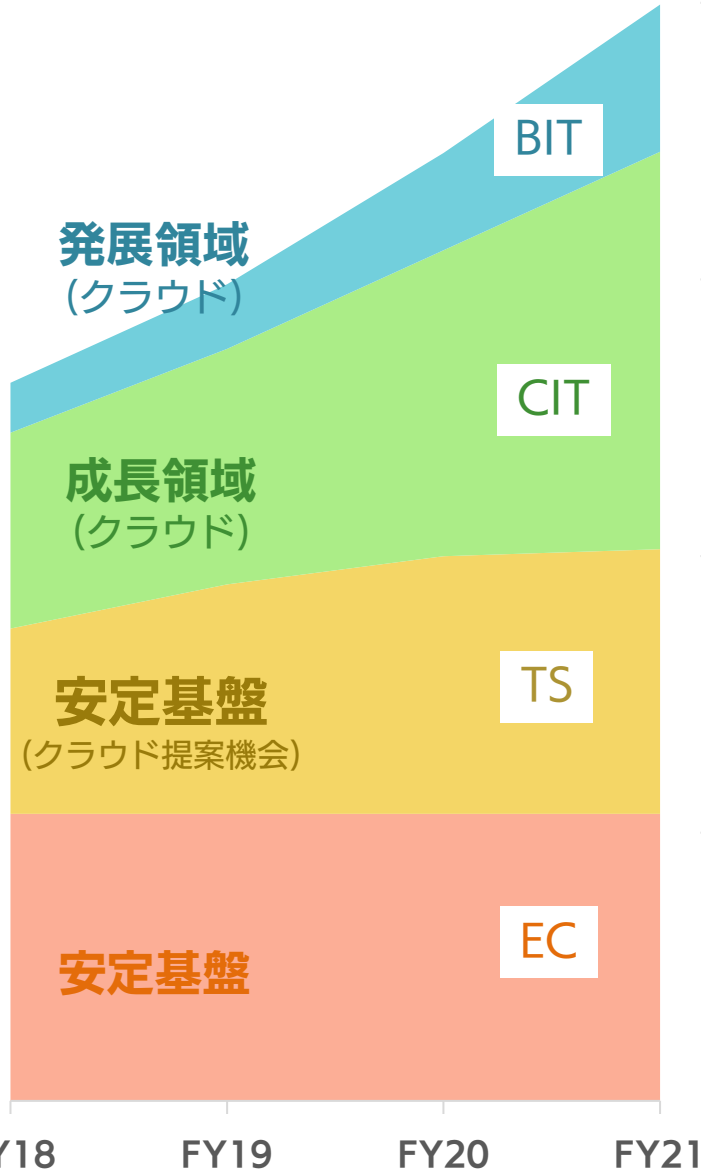
受注高	<p><b>【フロー】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開発+70億の内訳はBIT &amp; CITが約60%、TSが約40%</li> <li>SBグループ向けはクラウド開発やベンダー集約の伸長により約3倍に拡大、法人公共はIoT開発案件が伸長し1.4倍</li> </ul> <p><b>【ストック】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>法人公共複数年の大型案件がYoYで受注増に貢献</li> </ul>
受注残高	<p><b>【フロー】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SBKK向けベンダー集約案件がフローの40%弱</li> <li>電子申請基盤開発案件やグローバル製造業のIoT開発などBIT受注残が4倍に拡大（構成比25%超）</li> </ul> <p><b>【ストック】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>CITのストック受注残が約55%</li> <li>clouXionやMSSなど自社サービスが約20%増</li> </ul>

# FY 20 業績見通し

SB Technology

最注力

グローバル製造業、  
建設業、農業



顧客

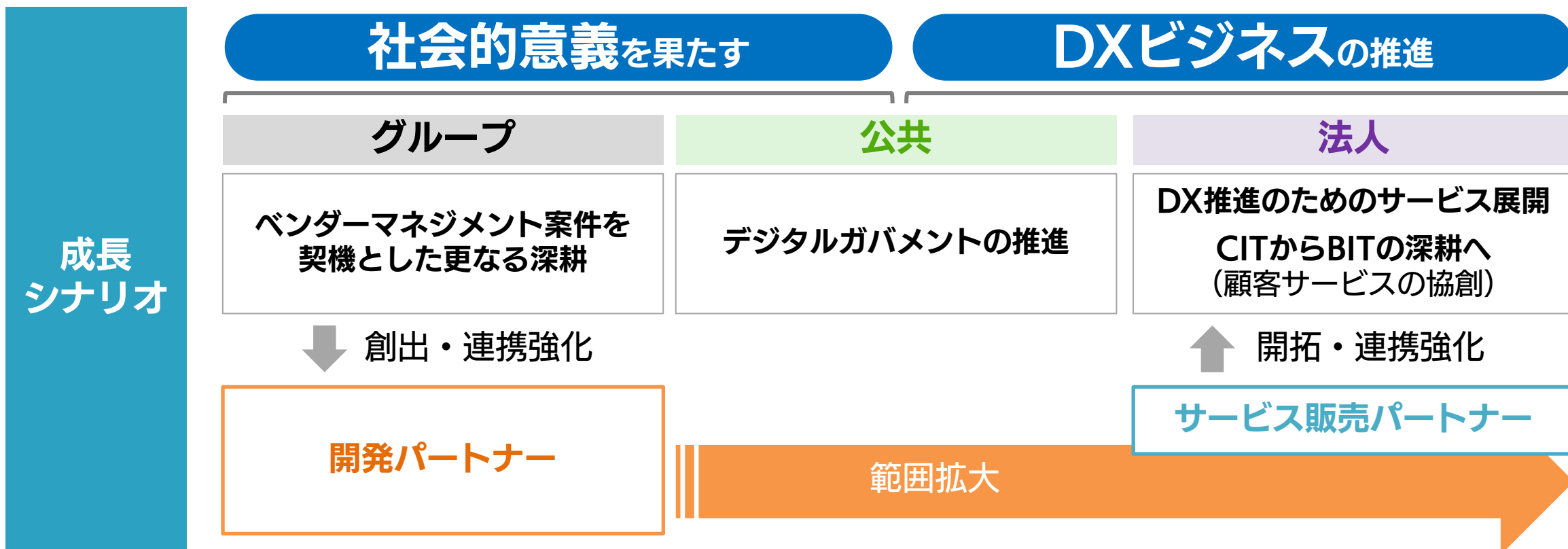
オポチュニティ / リスク

戦略進捗 / 見通し

顧客	オポチュニティ / リスク	戦略進捗 / 見通し
<p><b>事業IT支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>法人公共</li> <li>ソフトバンク各社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルガバメント推進</li> <li>アフターコロナの時代に向けたDXの加速</li> <li>注力している製造業/建設業で新型コロナウイルス影響が長期化</li> </ul>	 <p>先行投資</p>
<p><b>社内IT支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>法人公共</li> <li>ソフトバンク各社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テレワークの定着とデジタル化の加速</li> <li>テレワーク時代のセキュリティ対策が拡大</li> </ul>	 <p>計画線で伸長</p>
<p><b>オンプレIT支援</b> (プライベートクラウド含)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主にソフトバンク各社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベンダーマネジメント案件拡大</li> <li>開発パートナーの拡大と関係性の強化</li> <li>委託業務の予算縮小</li> </ul>	 <p>上振れ基調で伸長</p>
<p><b>EC運営代行</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主に個人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピークアウトの兆し</li> <li>仕切り率変更の発生</li> </ul> <p>RPA・AIによる効率化推進中</p>	 <p>軟調</p>

# 売上高 620億 / 営業利益 36億

FY21 営業利益43億に向けて利益成長路線を継続



# 中期計画の実現に向けて

第3次中期経営計画（FY19～FY21）

＝ SB Technology

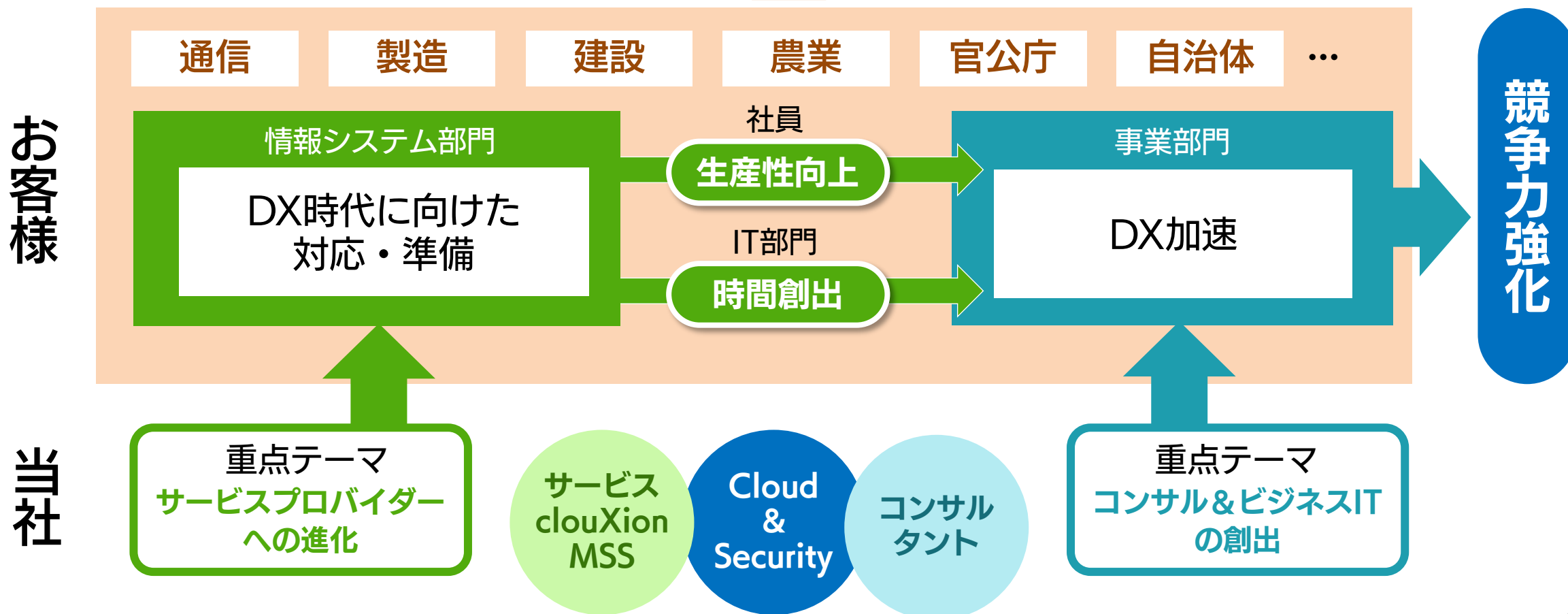
## FY21 経営指標

1. 営業利益 43億円※1
2. BIT & CIT※2 売上高構成比率 50%へ
3. ROE 13%

※1) FY18連結営業利益25億円を起点にCAGR 20%

※2) FY21の売上高に占めるビジネスITソリューション(BIT)及びコーポレートITソリューション(CIT)の割合

# SBTが目指している方向



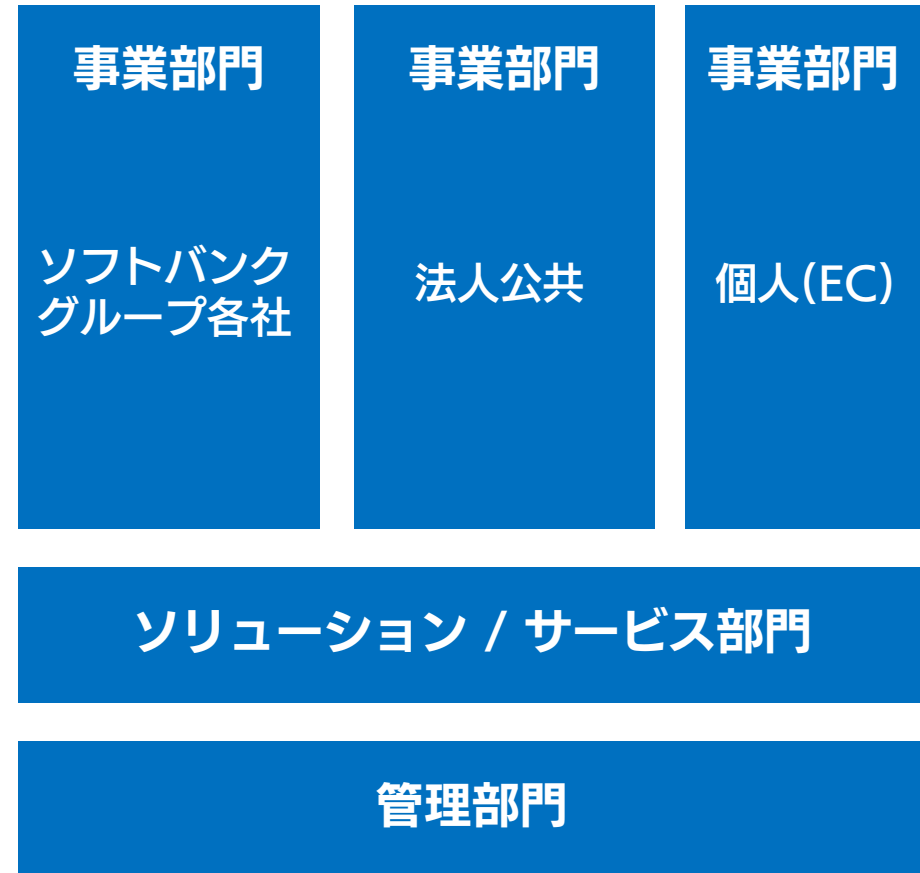


## 製販一体となりスピード感をもった意思決定で顧客支援の強化

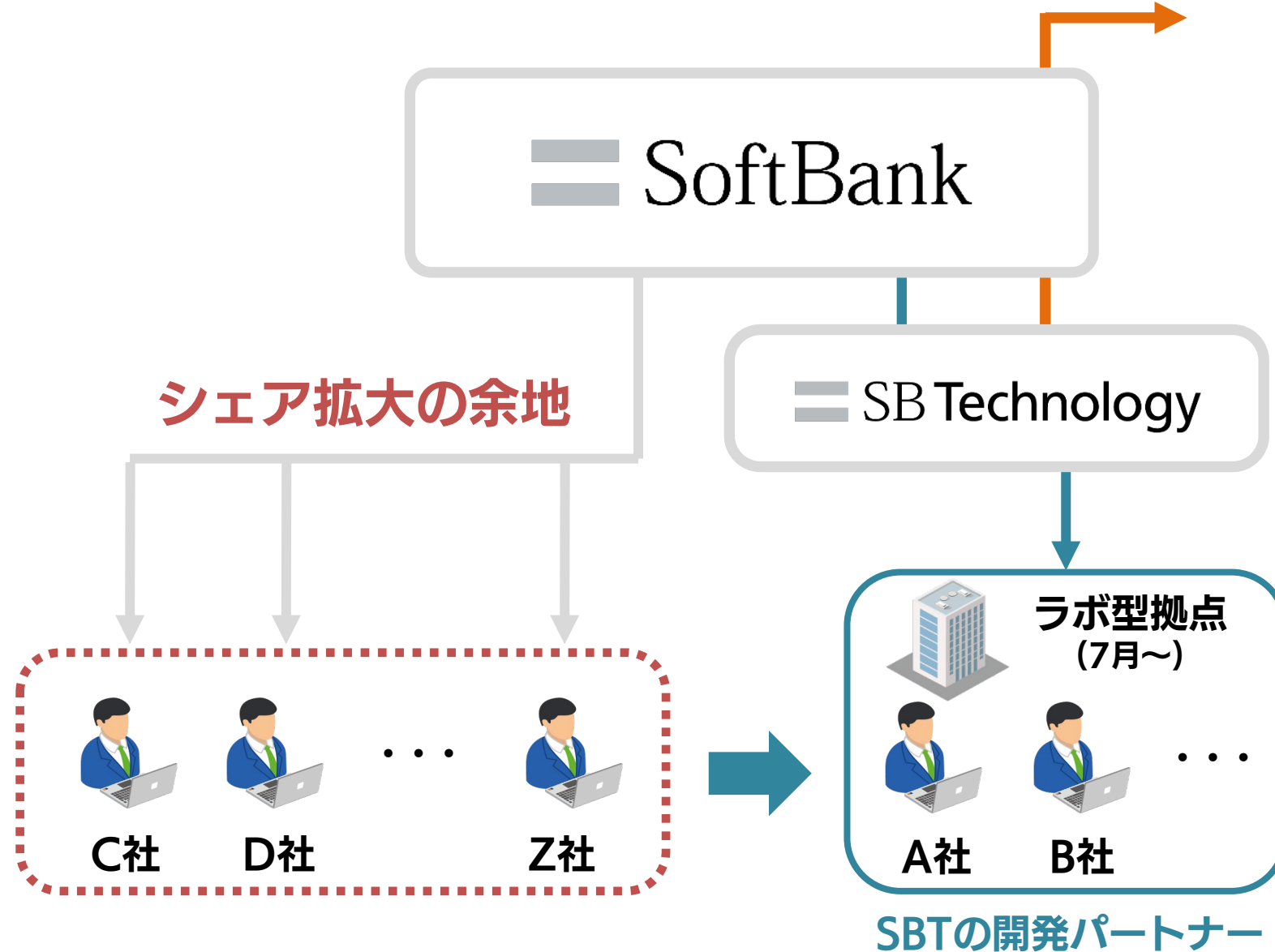
これまで 機能別組織



2020年4月～ 事業部制組織



## グループ各社の本業支援を強化



ソフトバンク株式会社を通じて  
社会インフラを支える  
戦略的Sler

**ベンダーマネジメント案件**

開発パートナーとの  
関係強化

↓

マネジメント手法の洗練

↓

法人公共の  
開発案件でも協業

## DX推進の準備（社内ITのクラウド化） → DX推進・顧客との協創

資産保有による運用・管理負荷  
テレワーク対応できず通勤

✕ 社外



オンプレミス



業務効率化のためのクラウド化  
クラウド化による働き方改革推進

○ 社外



Microsoft 365 / Teams

インターネット

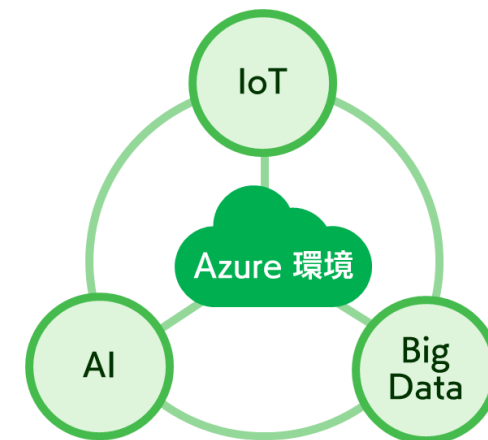


社内システムA

社内システムB

Azure 環境  
(IaaS / PaaS)

DXによる競争優位の確立  
アフターコロナへの対応



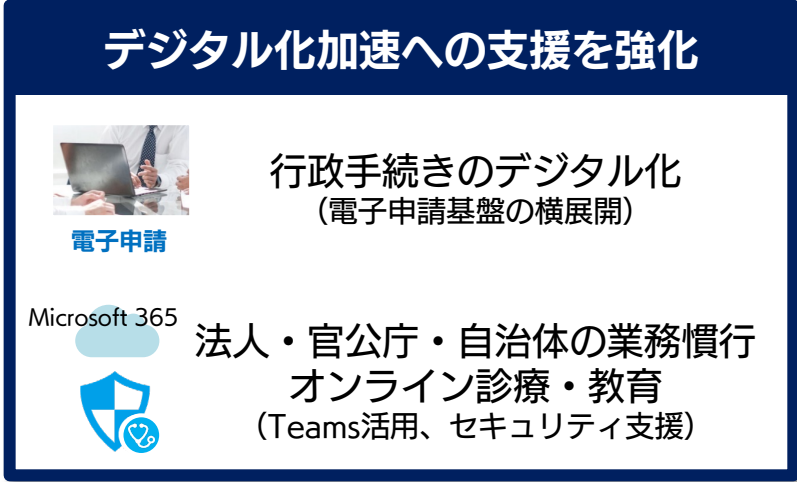
自社サービス・パートナーを通じて  
法人及び地方自治体に広く提供

製造業、建設業、農業、省庁(国民向け)と  
協創しながらDXを推進

## FY20以降のデジタルガバメント前倒しに対応



### 当社の対応

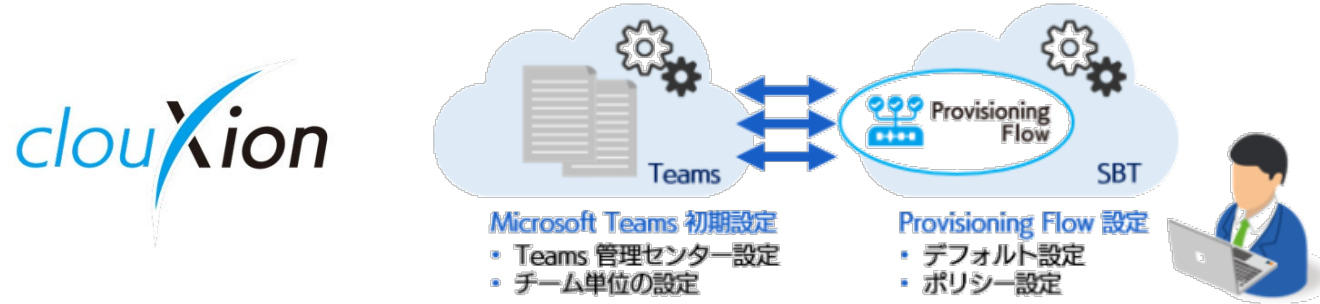


## パートナー販売を強化、自社サービスの限界利益を2年で3倍へ

リレーション強化 / パートナー販売比率50%以上に向上 / コストの削減

### クラウド&セキュリティのサービス化

ワークスタイル変革を推進するソリューション群



テレワークに必要なセキュリティ重点項目を包括的にカバー



### パートナーによるサービスの販売



建設業



製造業



その他産業

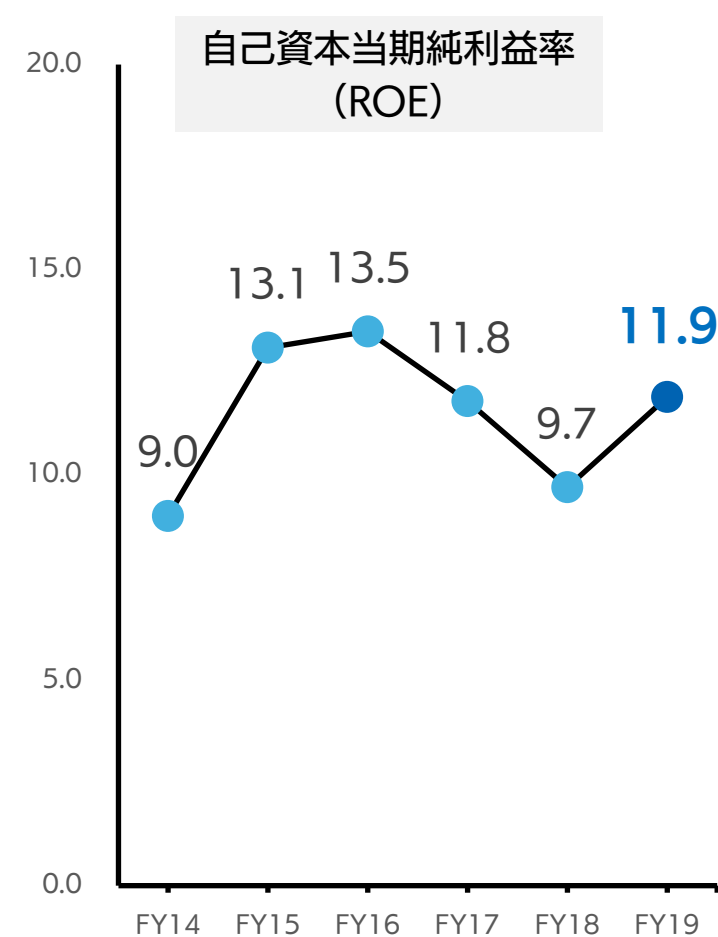
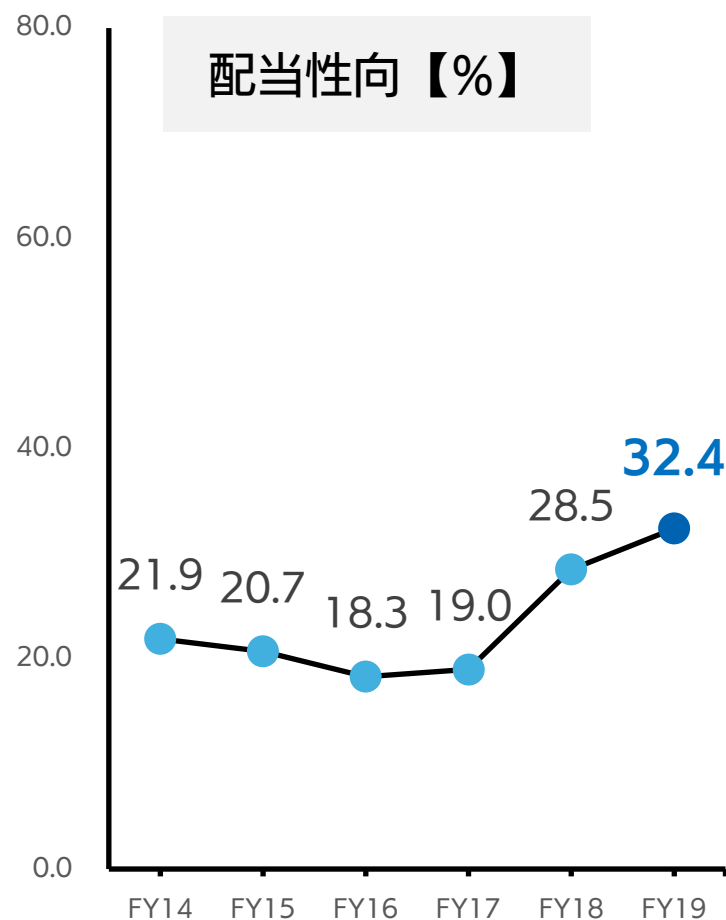
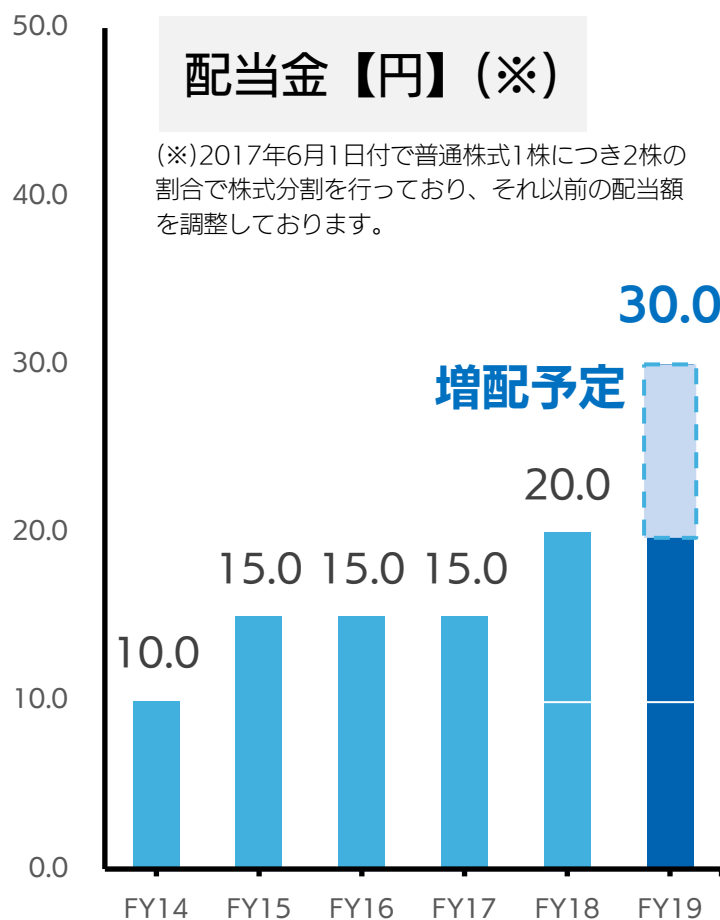


## テレワークの拡大、社会インフラを支える事業については大きなオポチュニティあり

	グループ	法人	公共	個人(EC)
リスク	委任業務の予算圧縮	注力業界である 製造業/建設業への コロナ影響	コロナ収束状況による 経済活動回復に向けた 政府の事業投資遅延	ピークアウトの兆し 仕切り率の変更
オポチュニティ	ベンダーマネジメント 案件 法人・公共での協業	テレワークの普及 及びセキュリティ対策 DXの加速 (アフターコロナ対応)	デジタルガバメント推進	-

- FY19業績予想達成
- 第3次中計の実現に向けた大きな機会と順調な進捗

以上により、FY20以降の利益成長を見込み**10円増配(予定)**



**情報革命で人々を幸せに**

**～ 技術の力で、未来をつくる ～**

**＝ SB Technology**

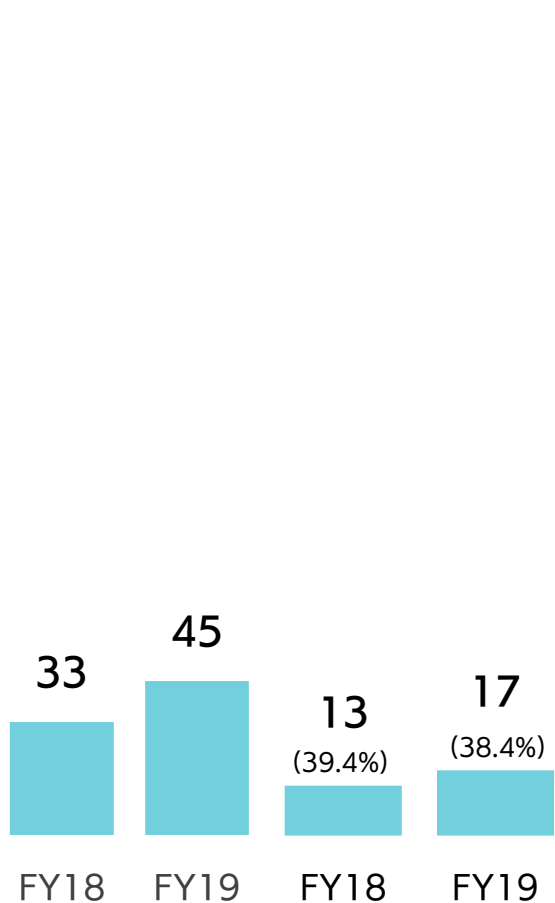


# 各ソリューションの概況

＝ SB Technology

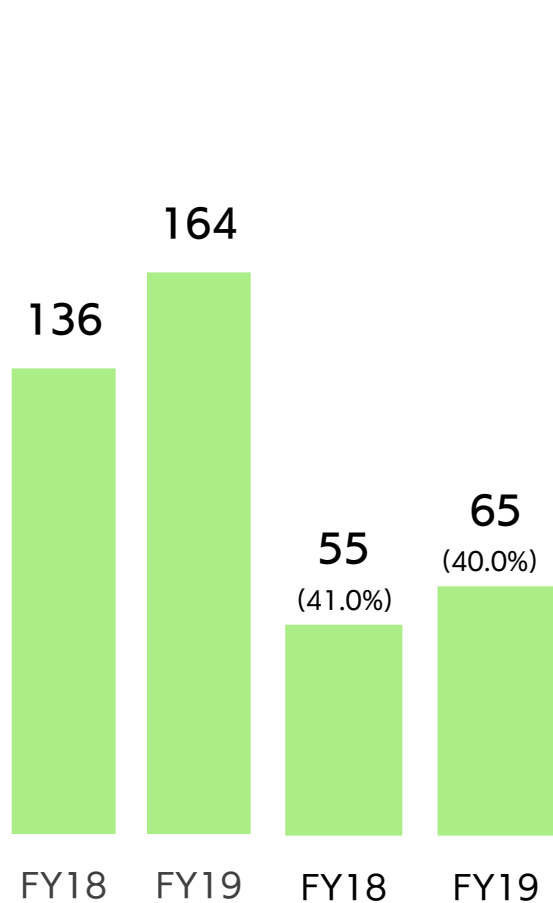
### ビジネスIT

売上 限界利益



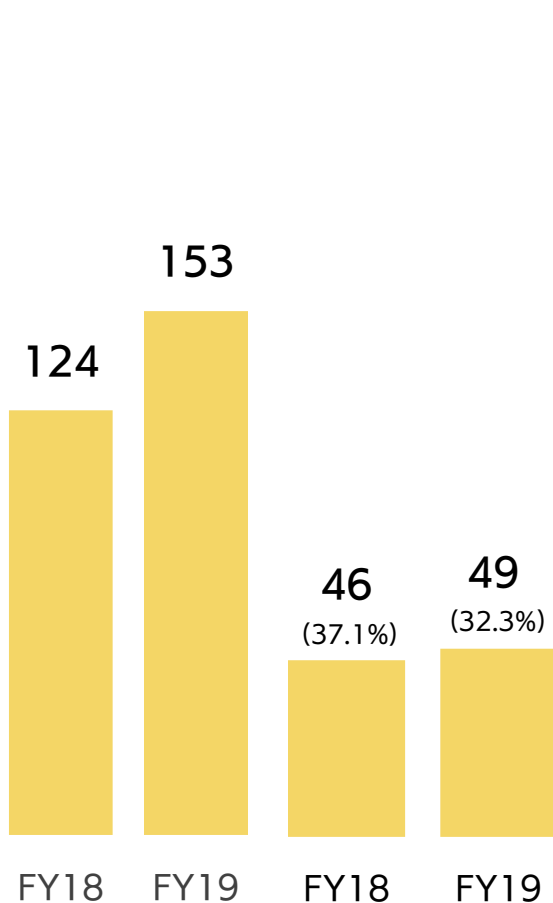
### コーポレートIT

売上 限界利益



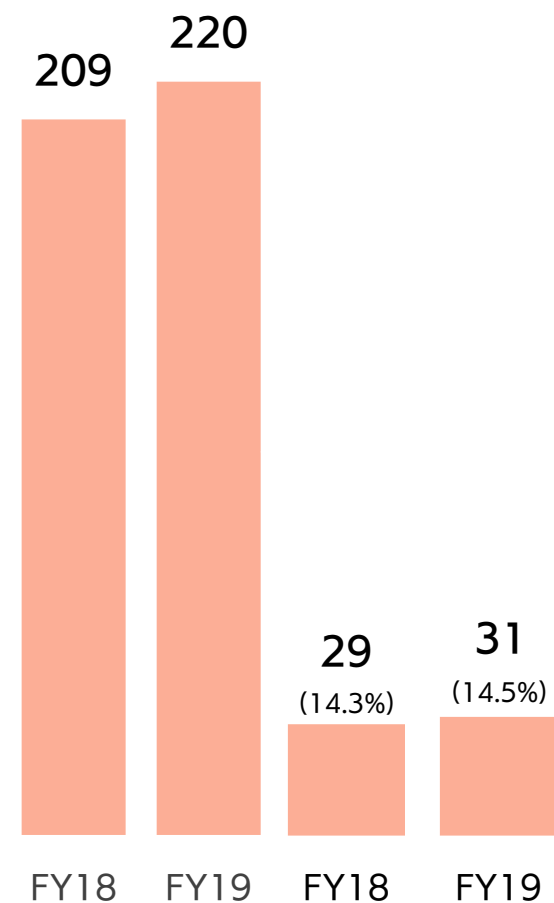
### テクニカル

売上 限界利益



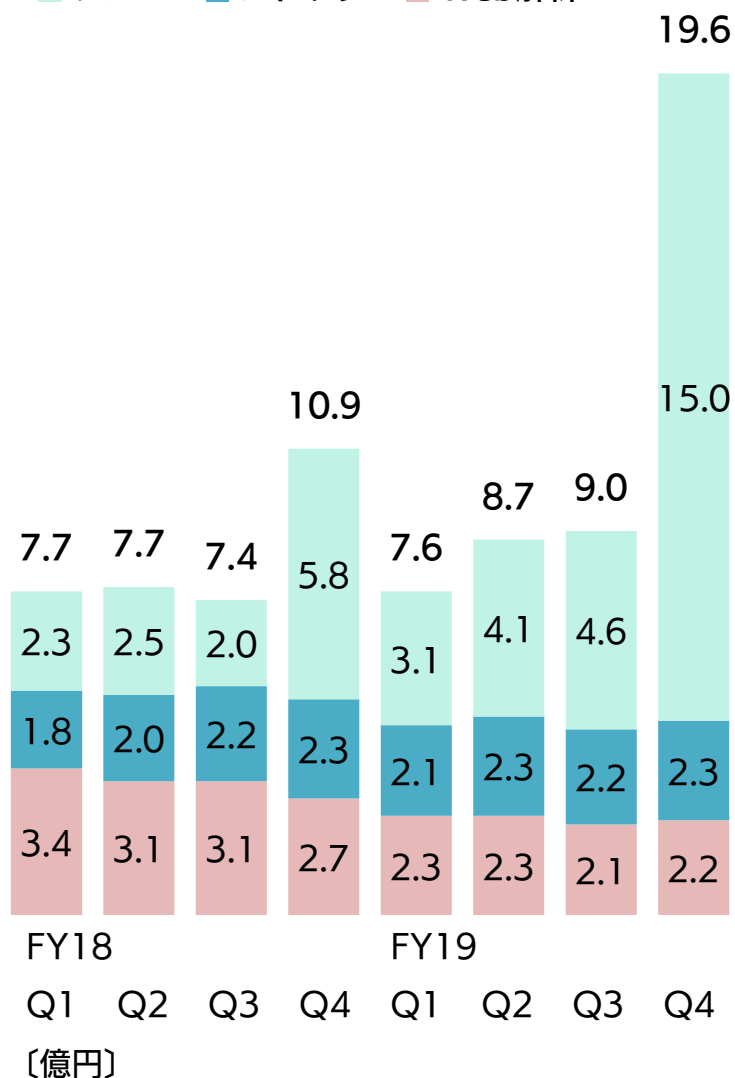
### EC

売上 限界利益

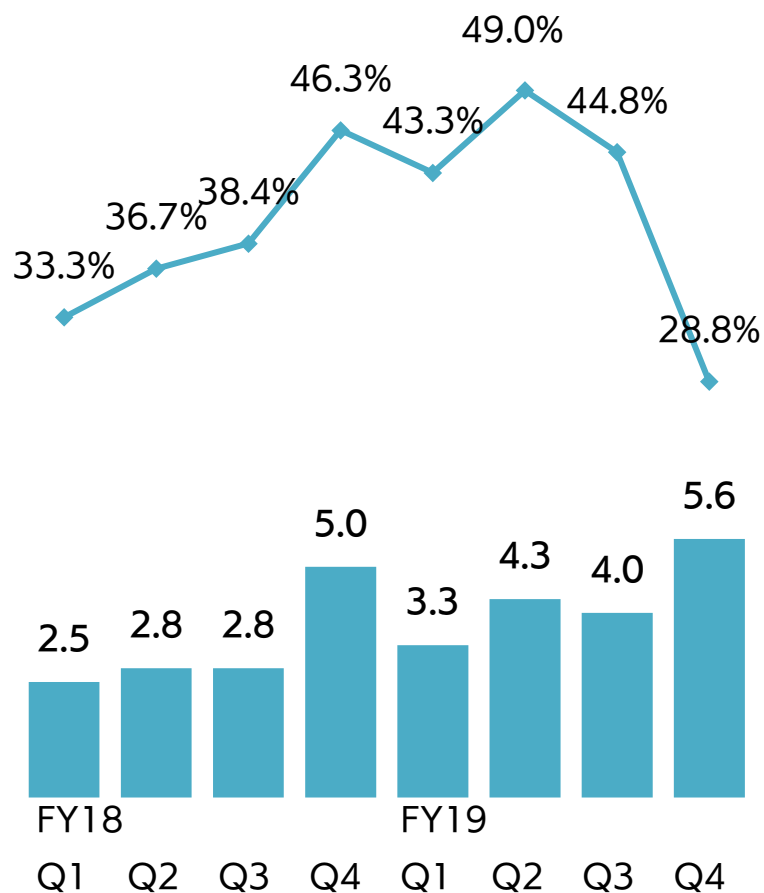


### 売上高

■ フロー ■ ストック ■ Web解析



### 限界利益

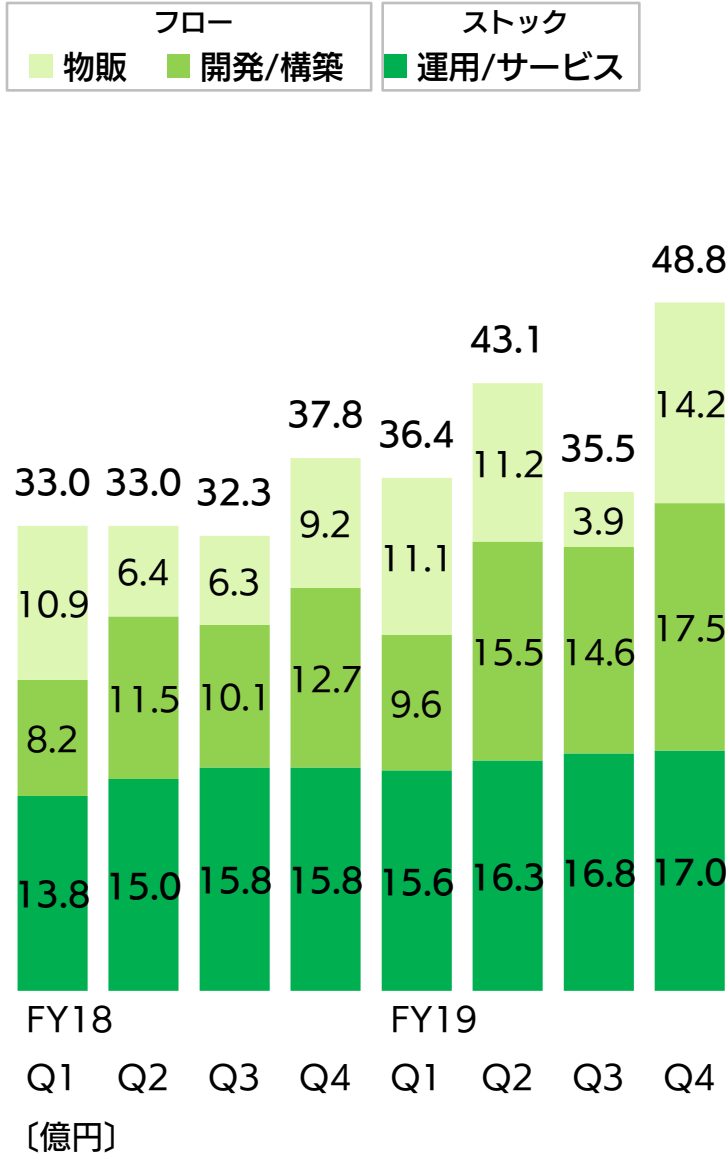


### 事業部門向けクラウドビジネス

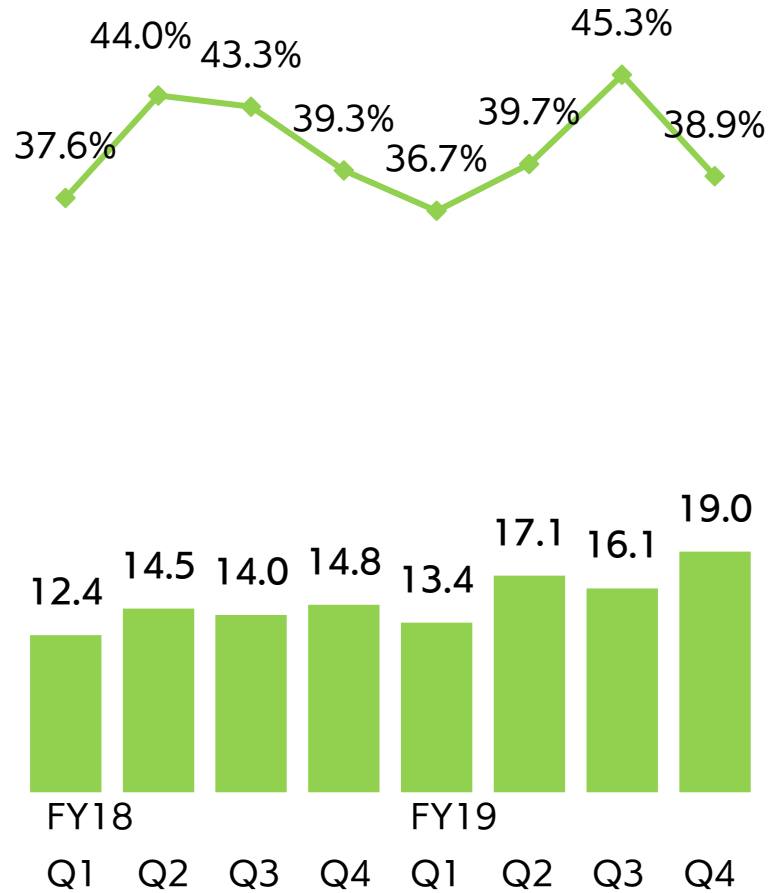
主な顧客：グローバル製造業、建設業、農業関連  
お客様のサービス開発、業界特化サービスの開発・提供、そのための協業・PoC(実証実験)などが主。

フロー	農林水産省の電子申請基盤開発案件により増収も、スコープ拡大により限界利益率は低下 グローバル製造業のIoTシステム開発は好調に推移
ストック	農業関連システムのストック売上が横ばいで推移
ウェブ解析	FY16下期以降、戦略見直しによりWeb解析ソリューションは縮小

## 売上高



## 限界利益



### 全社・管理部門向けクラウドビジネス

主な顧客：法人、自治体・独法、ソフトバンク各社

マイクロソフト社の Microsoft 365(SaaS)や Azure(PaaS)を活用したソリューション、サイバー攻撃対策、自社サービスであるclouXion(クラウドジョブ)及びマネージドセキュリティサービス(セキュリティ運用監視)の提供が主。

フロー

ライセンス比率の高まりにより  
限界利益率が低下

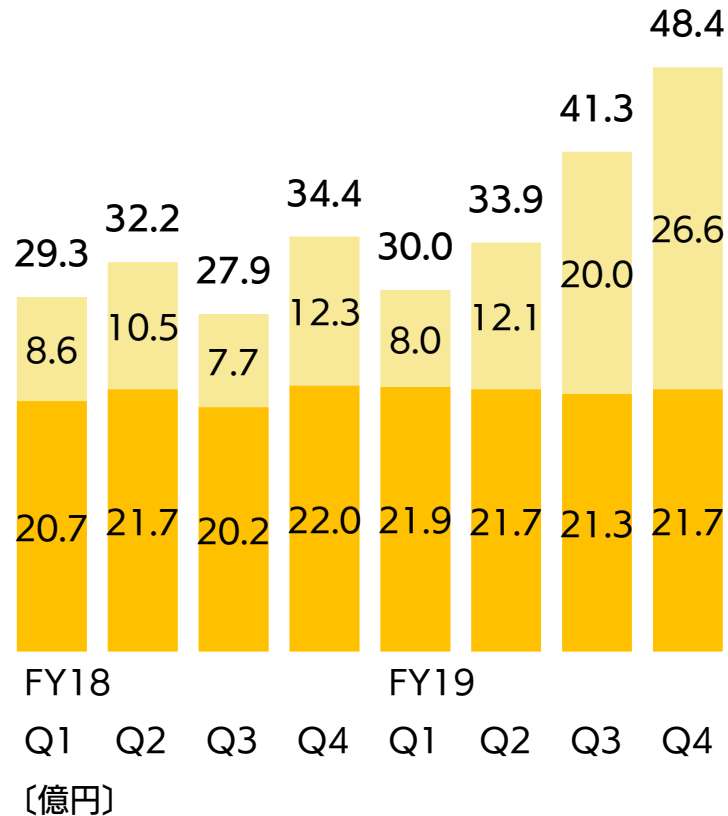
Azureを利用した  
システム開発案件が順調に推移

ストック

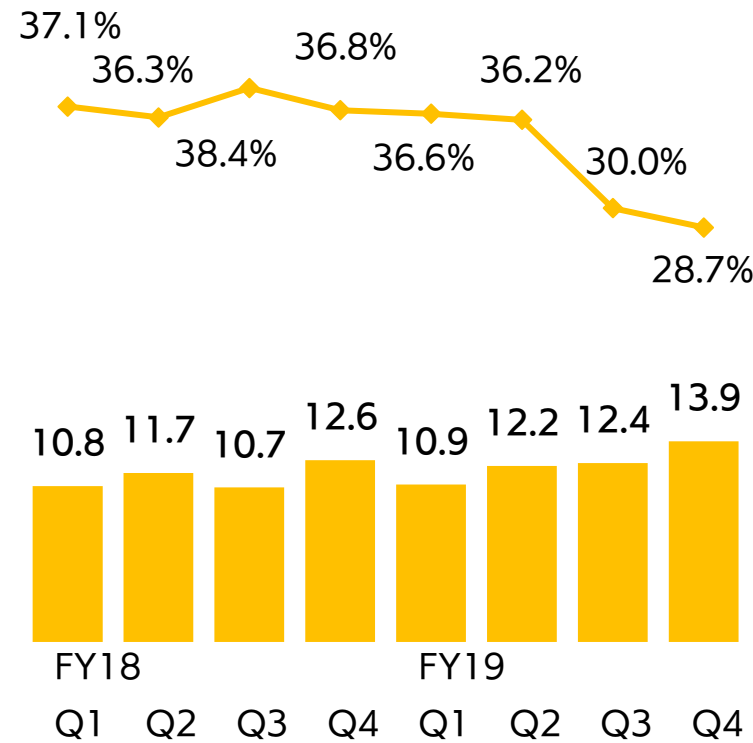
セキュリティ運用監視サービスや  
clouXionやMSSといった  
自社サービスが順調に拡大

## 売上高

■ フロー ■ ストック



## 限界利益



オンプレミス向けビジネス  
(プライベートクラウド含む)

主な顧客：ソフトバンク各社

お客様のオンプレミス・プライベートクラウドのシステム構築・運用保守が主。パブリッククラウドへの移行提案も実施。

フロー

Q3よりソフトバンク向けのベンダー  
マネジメント案件がスタート

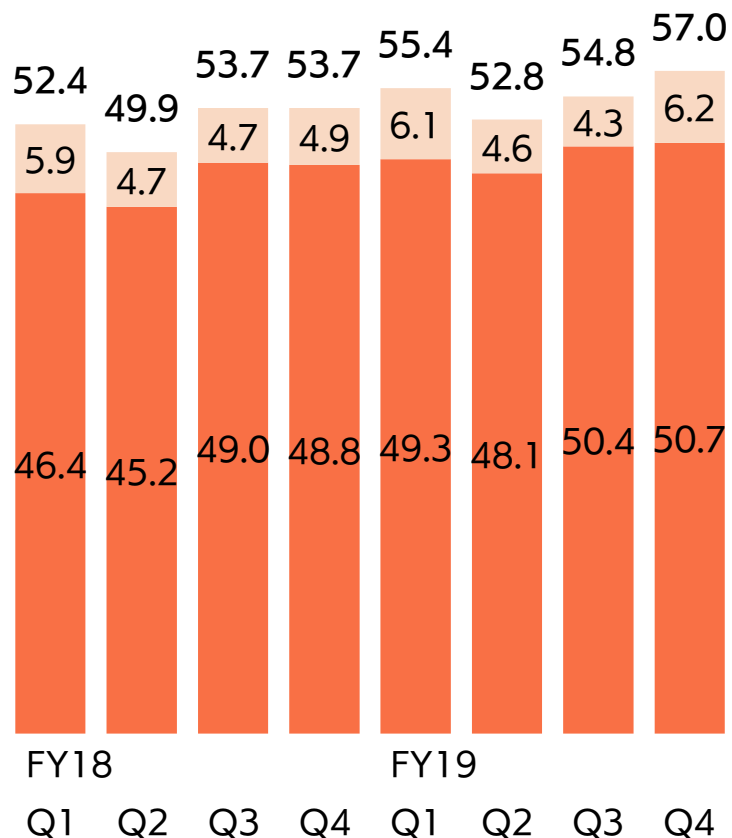
それに伴い開発パートナー企業数/  
人員が急拡大、外注費の増加により  
限界利益率は低下

(将来的に法人向けクラウド案件等でも連携予定)

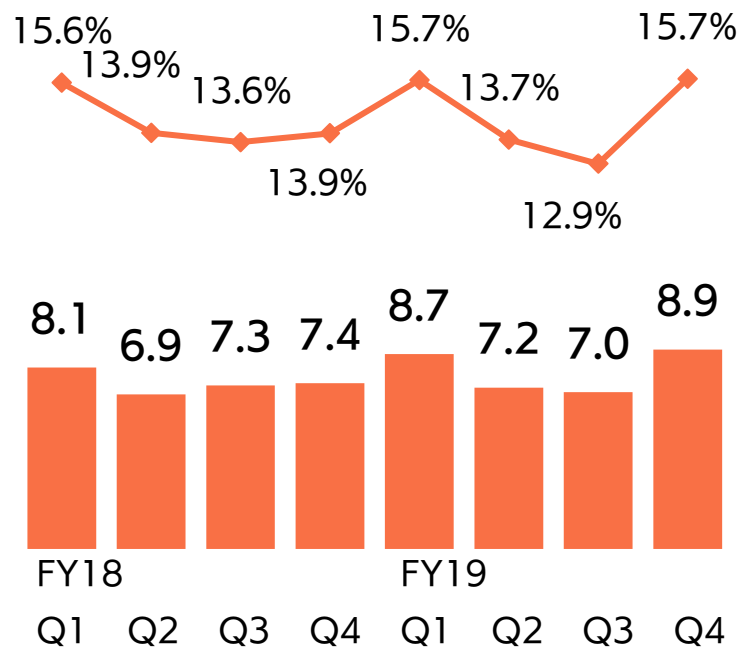
ストック

オンプレ運用・保守案件は  
堅調に推移

## 売上高



## 限界利益



ECサイト運営代行/フォントライセンス販売

主な顧客：個人

EC運営代行や、ECサイト構築から運用が主。  
フォントにおいては、フォント（書体）の企画・開発・販売  
およびソフトウェアの開発を実施。

ノートンストア運営代行ビジネスが  
堅調に推移

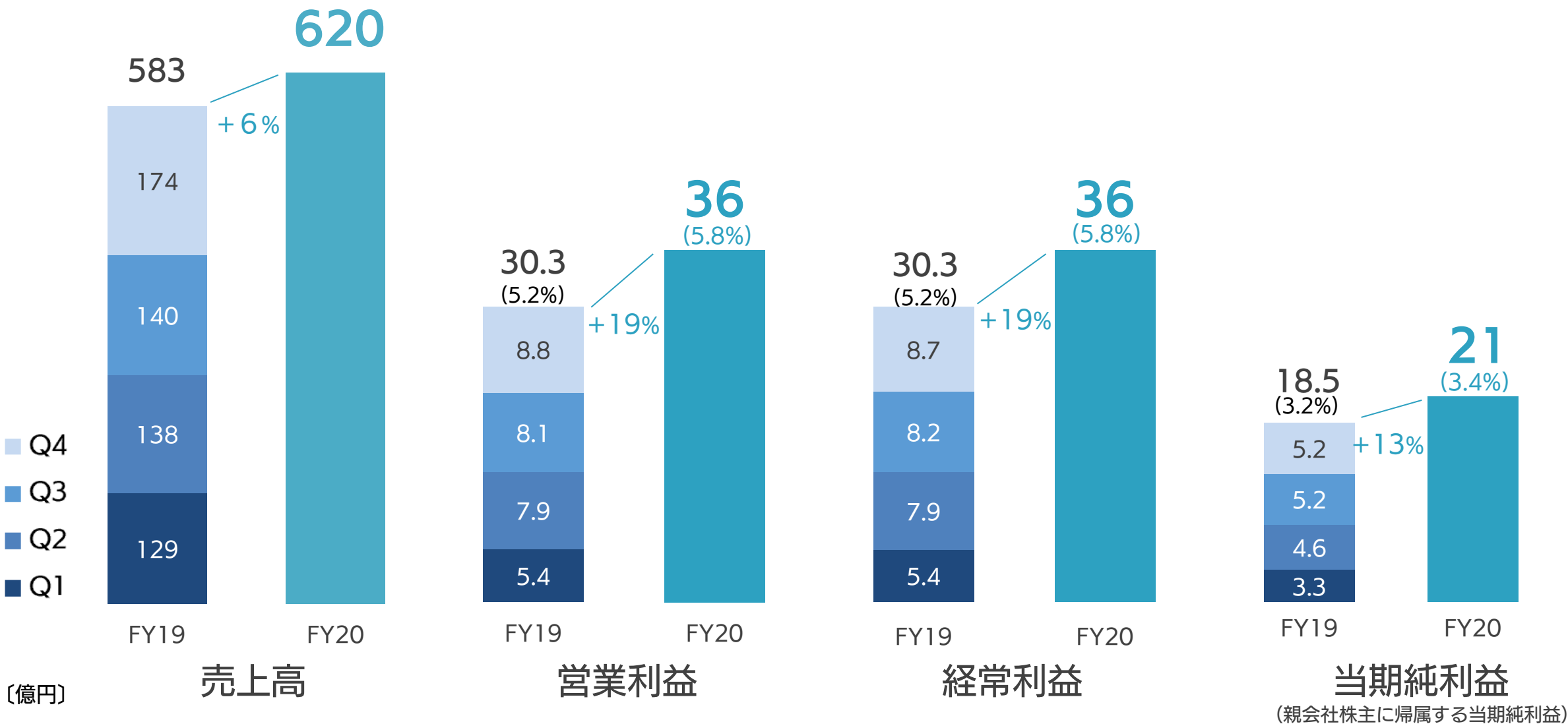
利益率の高いフォントの特需があり  
限界利益及び限界利益率が向上

# 数値データ

SB Technology

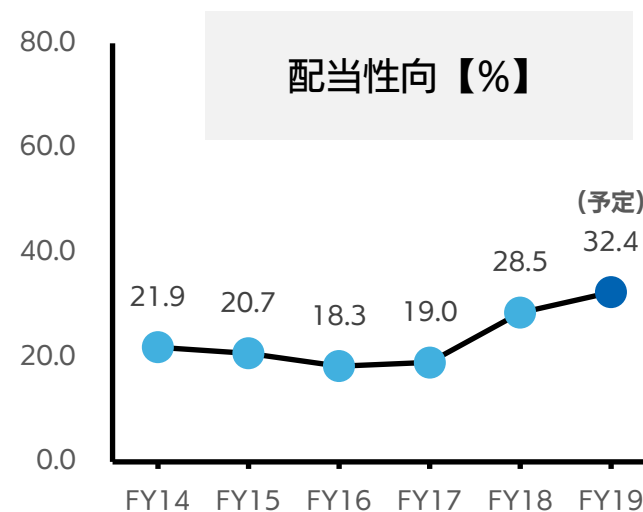
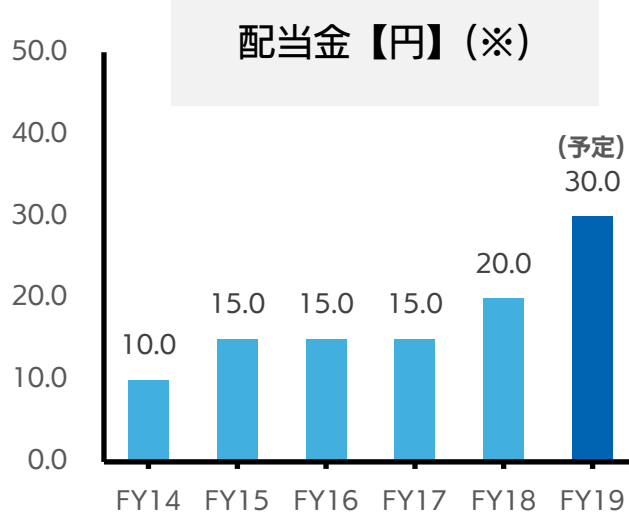
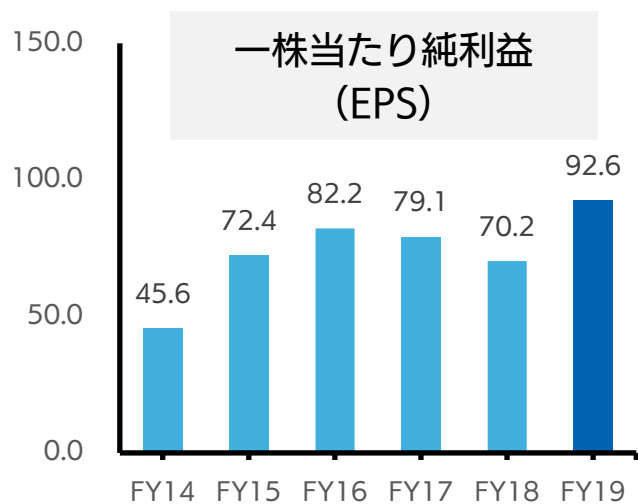
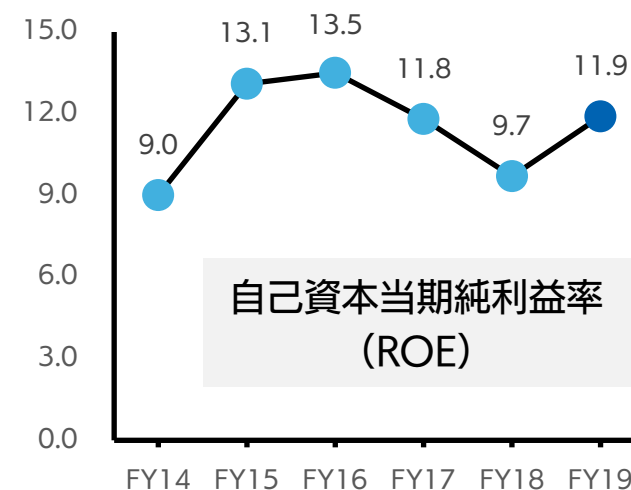
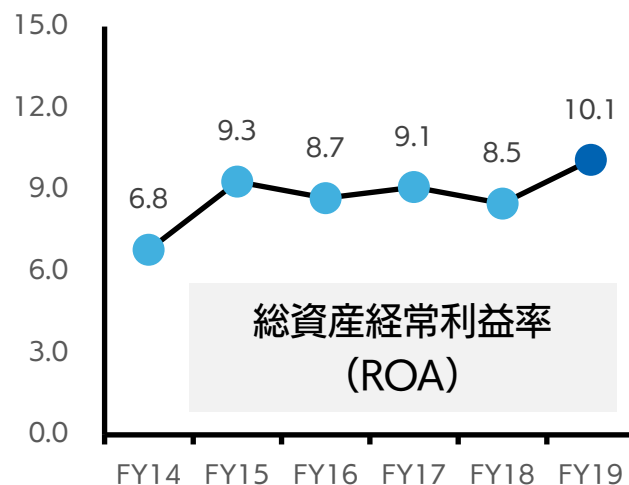
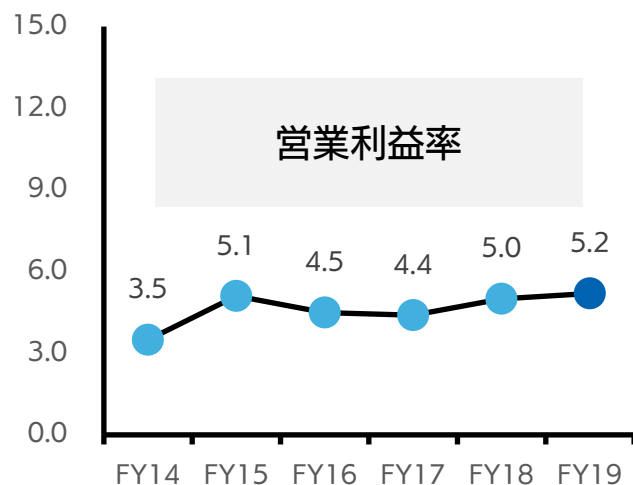
# 2021年3月期業績予想

- 新型コロナウイルスなど見通し不透明な部分もあるものの、利益成長は維持できる見通し





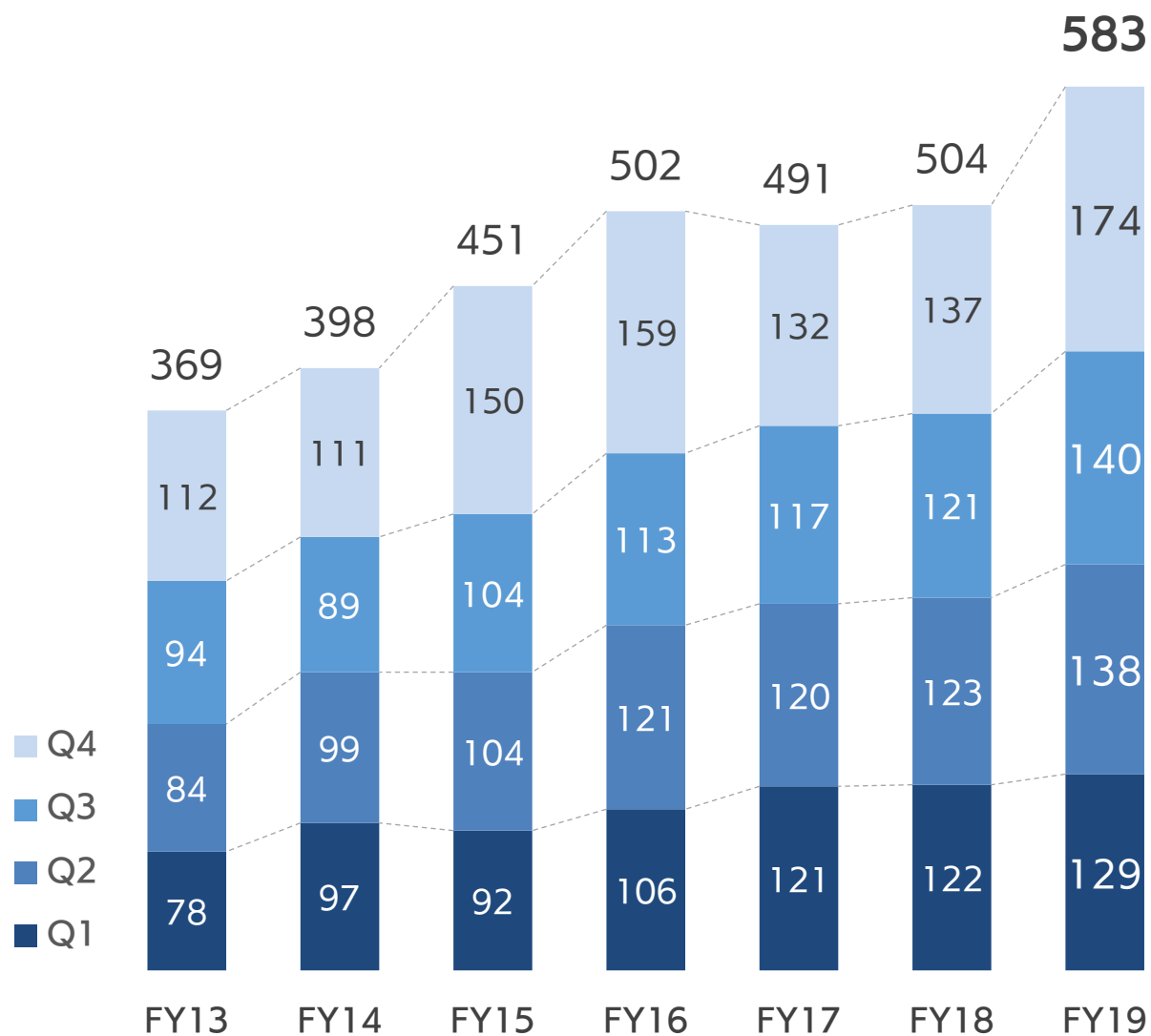
	(百万円)	2019/3末	2020/3末	前期末比
<b>流動資産</b>		20,008	24,350	4,342
現預金		8,728	9,826	1,097
受取手形・売掛金		10,011	12,714	2,702
<b>固定資産</b>		7,484	8,135	651
有形固定資産		1,220	1,488	267
無形固定資産		3,068	3,049	△ 18
投資その他の資産		3,194	3,597	402
<b>総資産</b>		27,492	32,486	4,993
<b>流動負債</b>		10,212	13,528	3,315
<b>固定負債</b>		1,422	1,340	△ 81
<b>純資産</b>		15,857	17,617	1,759



(※)2017年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、それ以前の配当額を調整しております。

- ソフトバンク向けのベンダーマネジメント案件、進行基準案件等で売上が伸長
- 電子申請基盤案件を横展開可能な形にするため開発スコープを拡大し、費用増大

(百万円)	(利益率)	FY19Q4	FY18Q4	増減額	増減率
売上高		過去最高 17,408	13,706	+3,702	+27.0%
限界利益		4,758 (27.3%)	4,012 (29.3%)	+746	+18.6%
固定費		3,877	3,011	+866	+28.8%
営業利益		880 (5.1%)	1,000 (7.3%)	▲119 (▲2.2pt)	▲11.9%
経常利益		871 (5.0%)	1,011 (7.4%)	▲140 (▲2.4pt)	▲13.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		529 (3.0%)	605 (4.4%)	▲75 (▲1.4pt)	▲12.5%

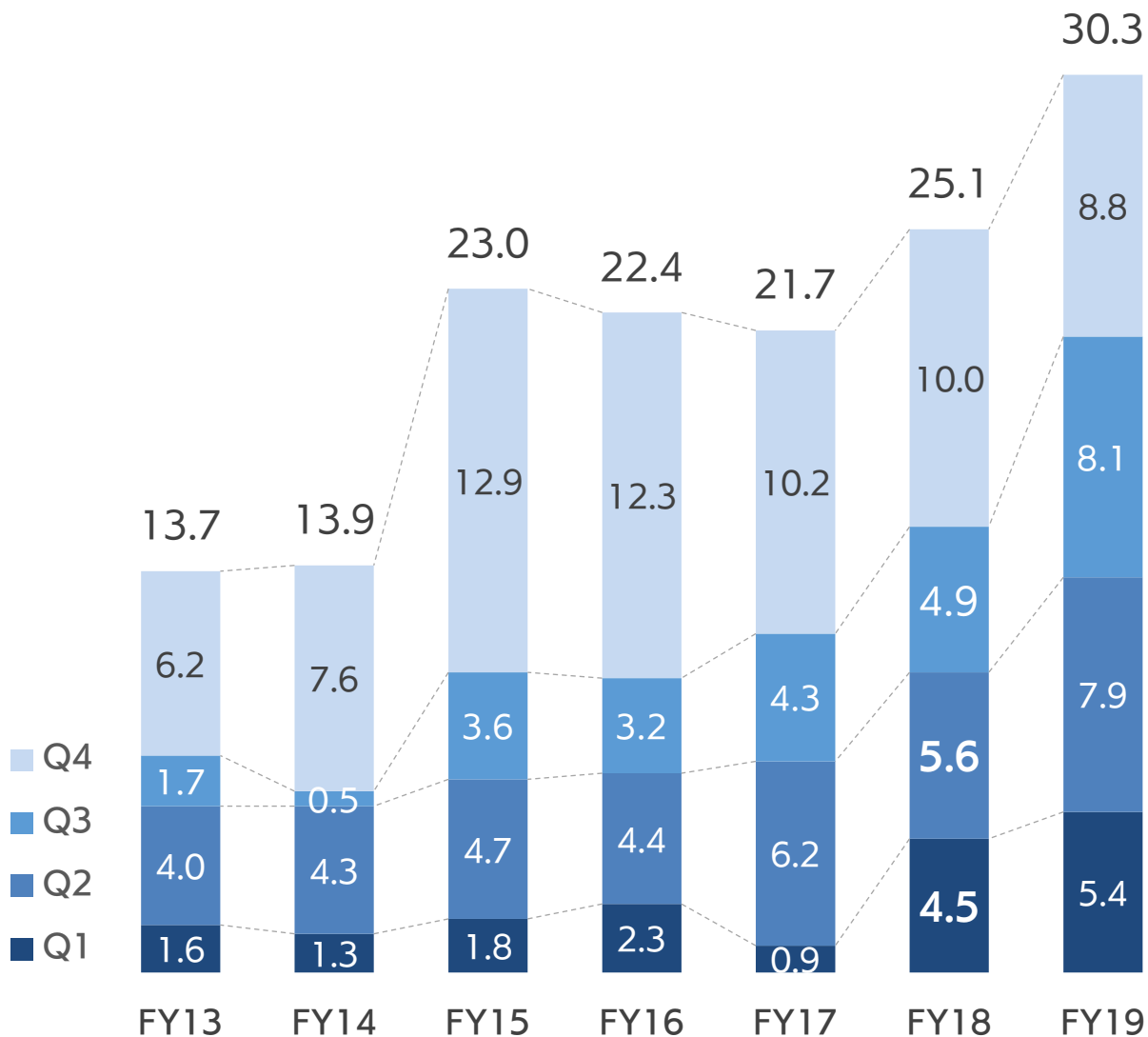


通期売上高 (前期比)

**15.7%増**

4Q売上高 (前期比)

**27.0%増**



中計目標 営業利益20%成長

通期営業利益 (前期比)

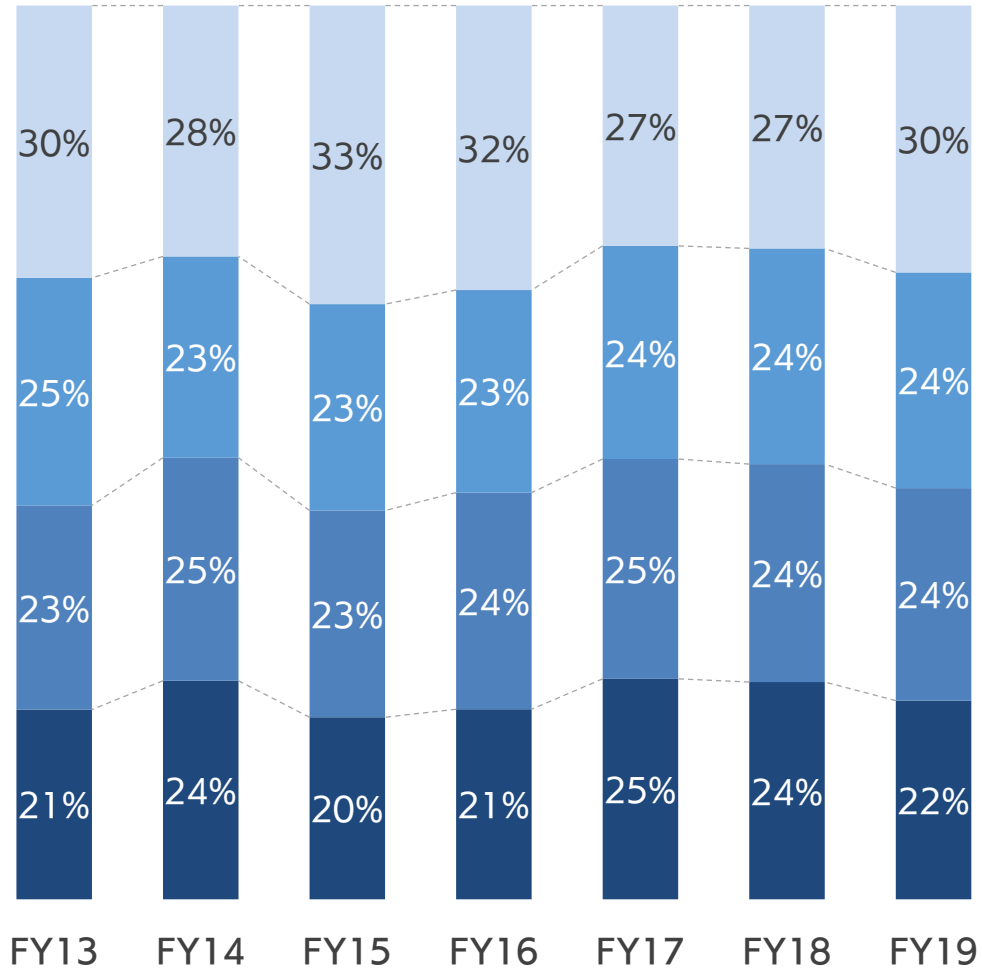
20.8%増

4Q営業利益 (前期比)

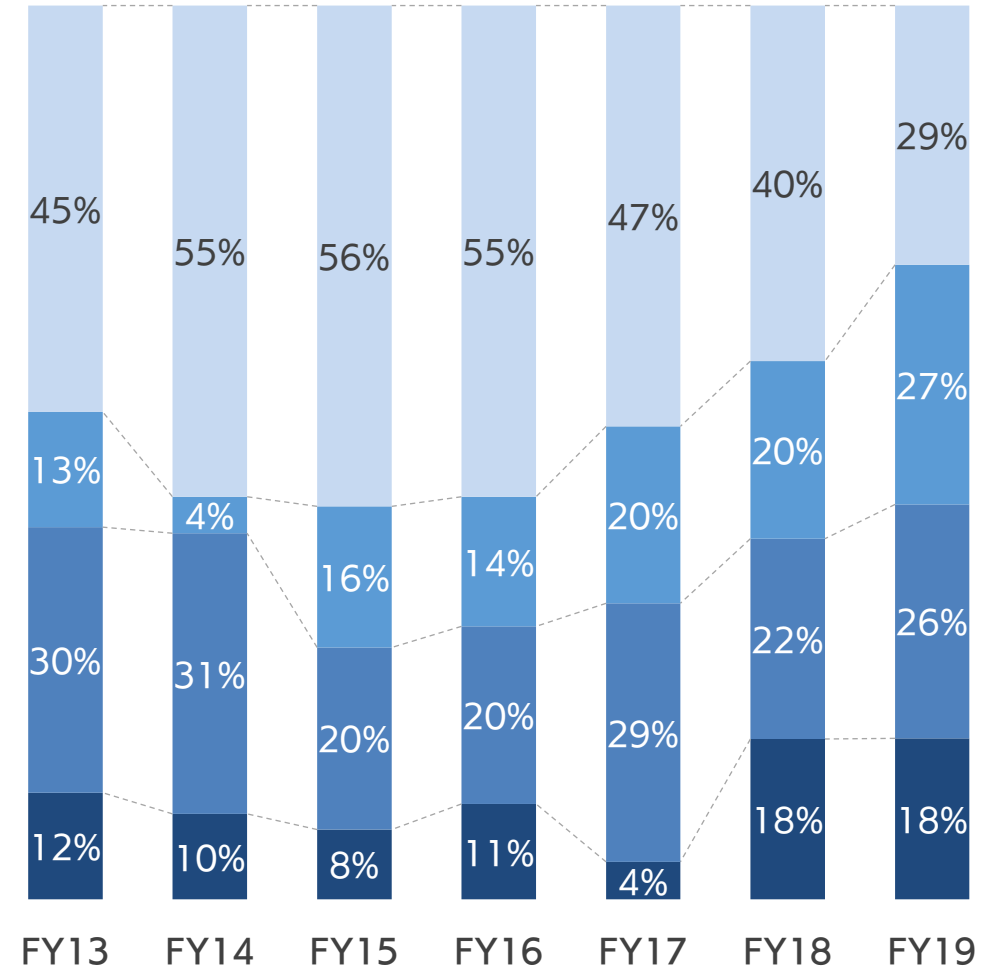
▲11.9%減

## 売上高

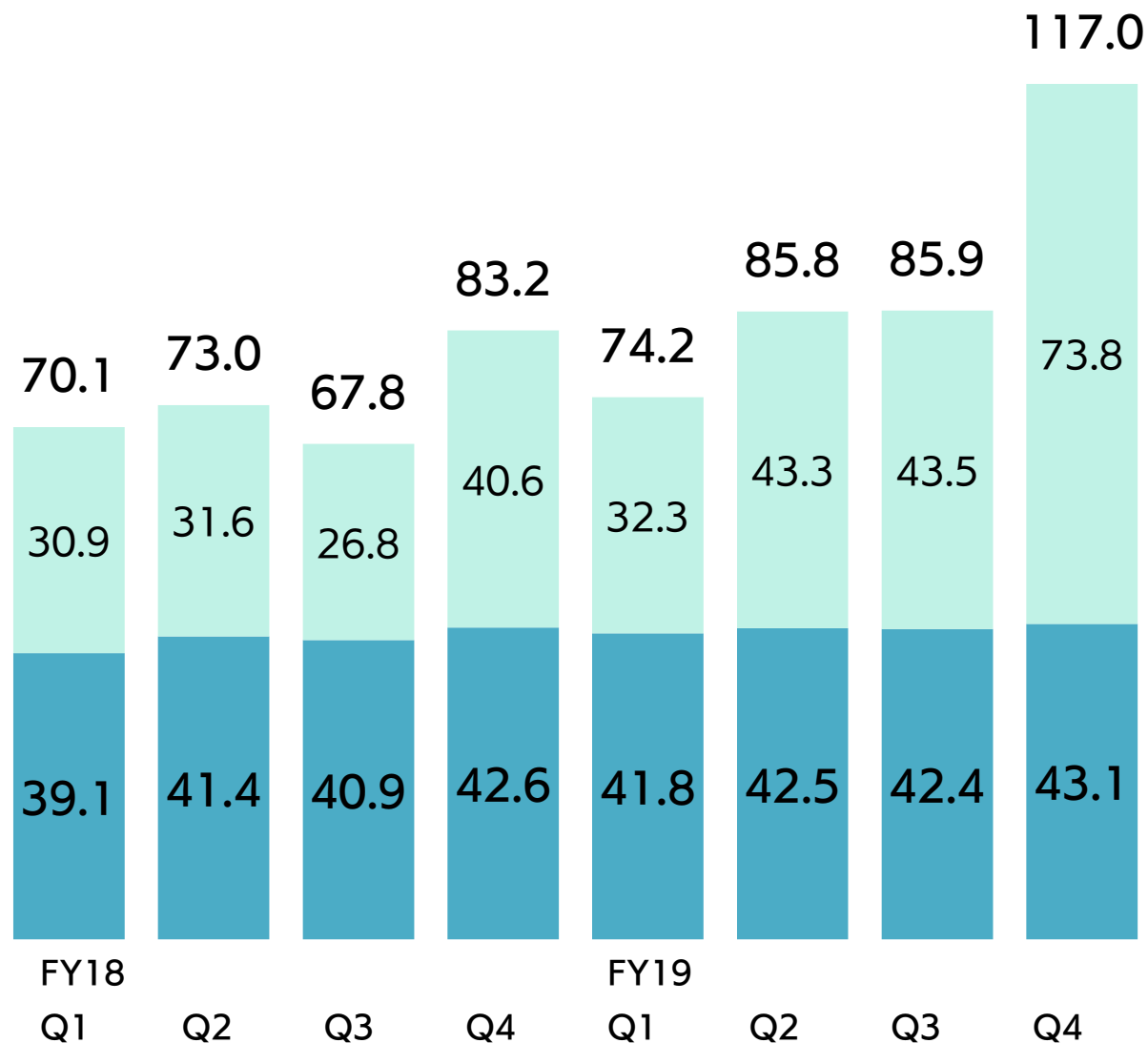
■ Q4 ■ Q3 ■ Q2 ■ Q1



## 営業利益



■ フロー ■ ストック



通期ストック売上高 (前期比)

**5.7億円** 増

4Qストック売上高 (前期比)

**0.5億円** 増

連結業績（百万円）	FY18Q1	FY18Q2	FY18Q3	FY18Q4	FY18	FY19Q1	FY19Q2	FY19Q3	FY19Q4	FY19	前期比	
											増減額	増減率
売上高	12,258	12,303	12,162	13,706	50,430	12,969	13,872	14,074	17,408	58,324	+7,894	+15.7%
BITソリューション	775	777	749	1,096	3,398	766	879	904	1,968	4,518	+1,119	+32.9%
CITソリューション	3,301	3,308	3,236	3,788	13,634	3,649	4,315	3,551	4,887	16,403	+2,769	+20.3%
テクニカルソリューション	2,939	3,221	2,799	3,443	12,403	3,005	3,394	4,136	4,844	15,380	+2,976	+24.0%
ECソリューション	5,241	4,995	5,377	5,377	20,993	5,548	5,283	5,482	5,708	22,022	+1,028	+4.9%
売上原価	10,323	10,222	10,149	11,277	41,973	10,873	11,479	11,647	14,897	48,897	+6,924	+16.5%
売上総利益	1,935	2,080	2,012	2,428	8,457	2,096	2,392	2,427	2,511	9,426	+969	+11.5%
販売管理費	1,485	1,516	1,513	1,427	5,943	1,550	1,597	1,613	1,630	6,391	+447	+7.5%
営業利益	450	563	499	1,000	2,513	546	794	813	880	3,035	+522	+20.8%
営業外損益	▲18	▲216	1	11	▲222	▲0	1	6	▲9	▲2	+219	-
経常利益	431	347	500	1,011	2,291	545	796	820	871	3,033	+741	+32.4%
特別損益	0	23	▲3	▲55	▲35	0	▲14	2	▲46	▲58	▲22	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	256	231	293	605	1,386	330	469	526	529	1,856	+469	+33.8%
限界利益	3,406	3,607	3,495	4,012	14,521	3,642	4,095	3,964	4,758	16,461	+1,939	+13.4%
固定費	2,955	3,043	2,996	3,011	12,008	3,096	3,300	3,150	3,877	13,425	+1,417	+11.8%
単体 受注残高	13,553	13,164	12,994	13,503	13,503	12,715	15,712	16,393	16,392	16,392	+2,888	+21.4%

※一部のプロジェクトに関してソリューション区分の見直しを行い、現在の計上方法に則して算出しております。



		FY18Q1	FY18Q2	FY18Q3	FY18Q4	FY18	FY19Q1	FY19Q2	FY19Q3	FY19Q4	FY19	前期比	
												増減額	増減率
連結業績 (百万円)	売上高	12,258	12,303	12,162	13,706	50,430	12,969	13,872	14,074	17,408	58,324	+7,894	+15.7%
	限界利益	3,406	3,607	3,495	4,012	14,521	3,642	4,095	3,964	4,758	16,461	+1,939	+13.4%
	利益率	27.8%	29.3%	28.7%	29.3%	28.8%	28.1%	29.5%	28.2%	27.3%	28.2%	▲0.6pt	-
BITソリューション	売上高	775	777	749	1,096	3,398	766	879	904	1,968	4,518	+1,119	+32.9%
	限界利益	258	285	287	507	1,338	332	431	404	567	1,736	+397	+29.7%
	利益率	33.3%	36.7%	38.4%	46.3%	39.4%	43.3%	49.0%	44.8%	28.8%	38.4%	▲1.0pt	-
CITソリューション	売上高	3,301	3,308	3,236	3,788	13,634	3,649	4,315	3,551	4,887	16,403	+2,769	+20.3%
	限界利益	1,240	1,456	1,402	1,488	5,588	1,340	1,713	1,610	1,902	6,567	+978	+17.5%
	利益率	37.6%	44.0%	43.3%	39.3%	41.0%	36.7%	39.7%	45.3%	38.9%	40.0%	▲1.0pt	-
TSソリューション	売上高	2,939	3,221	2,799	3,443	12,403	3,005	3,394	4,136	4,844	15,380	+2,976	+24.0%
	限界利益	1,089	1,170	1,074	1,268	4,602	1,099	1,227	1,242	1,390	4,960	+358	+7.8%
	利益率	37.1%	36.3%	38.4%	36.8%	37.1%	36.6%	36.2%	30.0%	28.7%	32.3%	▲4.8pt	-
ECソリューション	売上高	5,241	4,995	5,377	5,377	20,993	5,548	5,283	5,482	5,708	22,022	+1,028	+4.9%
	限界利益	817	695	731	747	2,992	870	723	706	897	3,198	+205	+6.9%
	利益率	15.6%	13.9%	13.6%	13.9%	14.3%	15.7%	13.7%	12.9%	15.7%	14.5%	+0.2pt	-
注力事業 合計	売上高	4,077	4,085	3,985	4,884	17,033	4,415	5,195	4,456	6,855	20,921	+3,888	+22.8%
	限界利益	1,498	1,742	1,689	1,996	6,927	1,672	2,145	2,015	2,470	8,303	+1,376	+19.9%
	利益率	36.8%	42.6%	42.4%	40.9%	40.7%	37.9%	41.3%	45.2%	36.0%	39.7%	▲1.0pt	-
	売上高 構成比率	33.3%	33.2%	32.8%	35.6%	33.8%	34.0%	37.4%	31.7%	39.4%	35.9%	+2.1pt	-

※一部のプロジェクトに関してソリューション区分の見直しを行い、現在の計上方法に則して算出しております。

# 会 社 情 報

＝ SB Technology

## 経営理念

**Mission** 存在意義

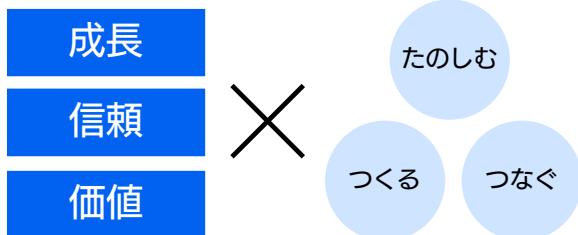
情報革命で人々を幸せに  
～技術の力で、未来をつくる～

**Vision** 目指す姿

多様な働き方と挑める環境で先進技術と創造性を磨き、  
社会に新しい価値を提供し続ける

**Value** 価値観・行動指針

3つの視点 × 3つのアクションで多様性を認め合う



## 会社概要

(2020年3月31日現在)

商号 SBテクノロジー株式会社(※)  
所在地 東京都新宿区新宿六丁目27番30号  
事業内容 ICTサービス事業  
設立 1990年10月16日  
資本金 1,176百万円  
従業員数 連結 1,068名

(※)2019年10月1日付でソフトバンク・テクノロジー株式会社から  
SBテクノロジー株式会社に商号変更しております

## 役員

(2020年4月1日現在)

### 取締役

代表取締役社長 CEO 阿多 親市  
取締役 CSO 佐藤 光浩  
取締役 CSO 後藤 行正  
取締役 喜多村 晃  
取締役 児玉 崇  
取締役 金子 公彦  
社外取締役 鈴木 茂男  
社外取締役 宗像 義恵

### 監査役

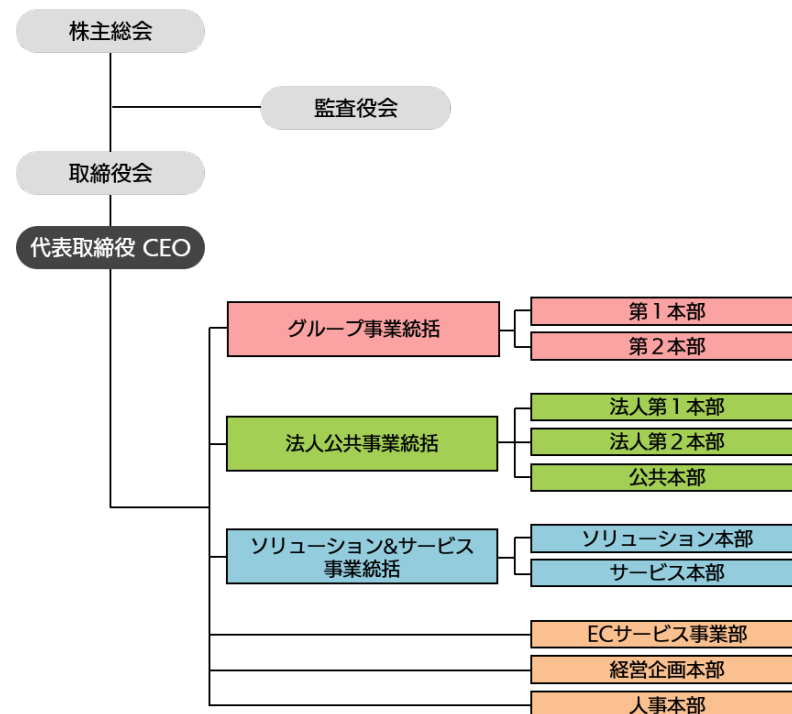
常勤監査役 上野 光正  
監査役 廣瀬 治彦  
監査役 中野 通明  
監査役 内藤 隆志

### 執行役員

最高経営責任者執行役員 阿多 親市  
副社長執行役員 SCO 佐藤 光浩  
上席執行役員 喜多村 晃  
上席執行役員 CIO 児玉 崇  
上席執行役員 渡辺 真生  
執行役員 CCO 正岡 聖一  
執行役員 清水 哲也

## 組織図

(2020年4月1日現在)



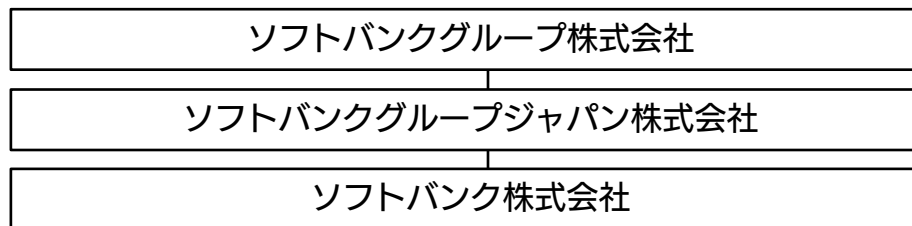
## 認証・認定

(2020年4月1日現在)



ISMS認証・登録範囲  
本社/夕留/仙台/名古屋/大阪/福岡

えるぼし



## SB Technology



### M-SOLUTIONS株式会社

クラウドサービスおよびスマートデバイスを中心としたシステム的设计・開発および保守・運用サービスの提供



### 株式会社 環

クラウドサービスを活用した社内の業務改善・コミュニケーション改革を実現する教育コンテンツの提供



### アソラテック株式会社

農業におけるICTを活用した課題解決および総合的なICTサービスの提供



Fontworks

### フォントワークス株式会社

デジタルフォント（書体）の企画・開発・販売および、ソフトウェアの開発、テクニカルサービス、OEM等の提供



### サイバートラスト株式会社

IoTサービス、OSS/Linuxサービス、認証・セキュリティサービスの提供



### リデン株式会社

農業データの利活用を促進し、農業成長サイクルの加速を支援するプラットフォームの提供

## 長期目標と 新3か年計画の位置付け

長期目標

日本企業の競争力を高める  
クラウドコンサル&サービスカンパニーへ

- クラウド&セキュリティ No.1
- 先端技術と創造性でグローバルビジネスをお客様と協創

店頭公開

東証一部上場

1999

2006

2012

2013

2014

2015

2016

2017

2018

第1次中期計画

第2次中期計画

第3次中期計画

EC、IT商材の販売・構築

システムインテグレーション

プラットフォームソリューション

ECサービス

注力領域の設定



事業改革



事業規模

独自技術

管理体制

クラウドへの集約



IoTビジネスの開発



サービスプロバイダーへの進化



コンサルティング&ビジネスITの創出



## 大手企業、官公庁向け クラウド導入実績No.1

SBテクノロジー株式会社

ICTサービスビジネス



### ビジネスITソリューション

クラウドビジネス  
(事業部門向け)

- コンサルティングサービス
- AI・IoTソリューション 等
- DXソリューション



### コーポレートITソリューション

クラウドビジネス  
(全社・管理部門向け)

- クラウドインテグレーション
- セキュリティ運用監視サービス
- 業務効率化サービス
- 電子認証ソリューション 等
- クラウドセキュリティサービス



### テクニカルソリューション

- オンプレミス(プライベートクラウド含む)の開発、運用支援
- 機器販売、構築、運用保守サービス
- Linux/OSS関連製品の販売、組込開発 等

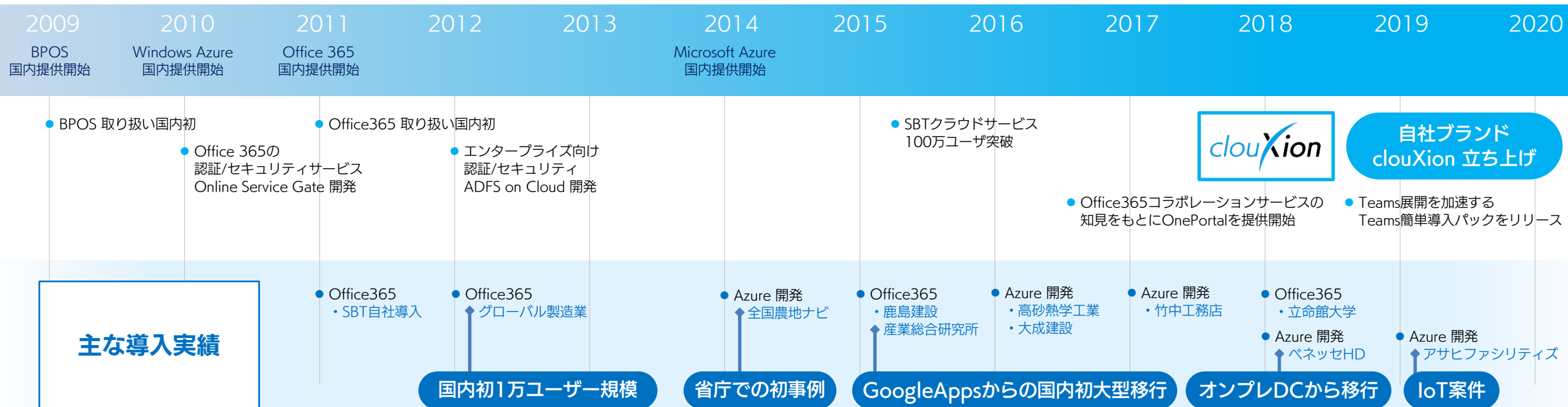


### ECソリューション

- ECサイト運営代行
- フォントライセンスのEC販売 等

# マイクロソフト クラウドビジネスにおける強み

- ✓ **どこよりも長い取り組み** クラウド黎明期の2009年からいち早くマイクロソフト クラウドビジネスを開始。長い取り組みで多くの知見を蓄積しています。
- ✓ **トップクラスの導入実績** 大手企業を中心に、Microsoft 365 から Azure 環境での開発まで、国内トップクラスの導入実績を持っています。
- ✓ **豊富な独自ソリューション** これまでの知見とユーザーの声をもとに開発した様々なクラウド活用ソリューションを、自社ブランドとして提供しています。



**クラウド導入実績** (2019年12月末時点)

**995 社**

クラウドSI 導入実績 **378 社**

clouXion 導入実績 **617 社**

**マイクロソフト クラウド コンピテンシー**

クラウドサービスを販売・展開するパートナーの実績を証明する認定

**SBTは5分野すべてで GOLD を取得**

- Cloud Platform
- Cloud Productivity
- S&M Cloud Solutions
- Cloud CRM
- Enterprise Mobility Management

**マイクロソフト パートナー オブ ザ イヤー**

これまで7回、2014年からは6年連続受賞

日本初の4冠

FY21  
経営指標

- 営業利益 43億円 (FY18/25億円を起点にCAGR 20%)
- BIT & CIT売上高構成比率 50%へ
- ROE 13%

重点テーマ

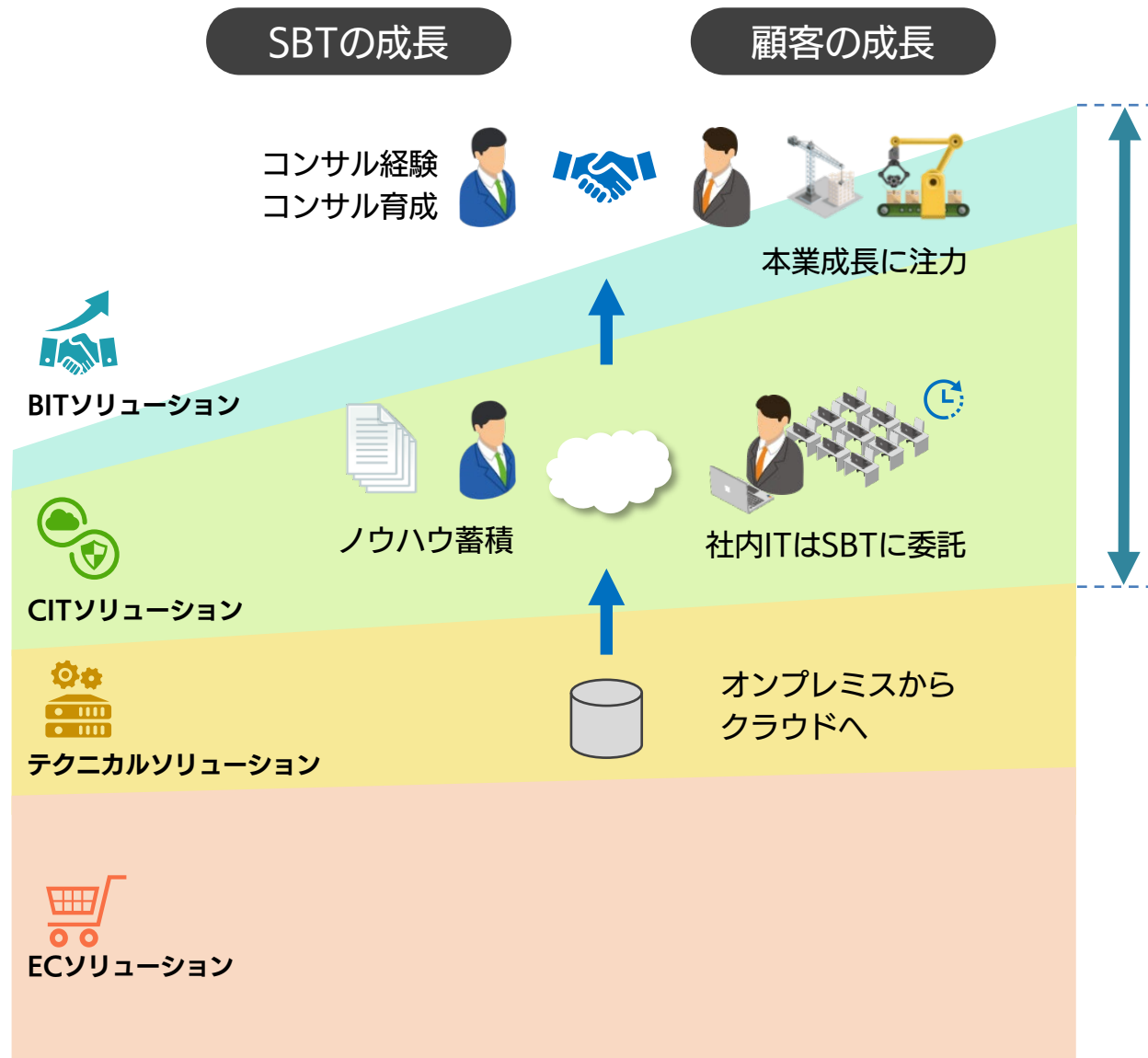
サービスプロバイダーへの進化



コンサルティング&ビジネスITの創出







## 売上高構成比率 50%

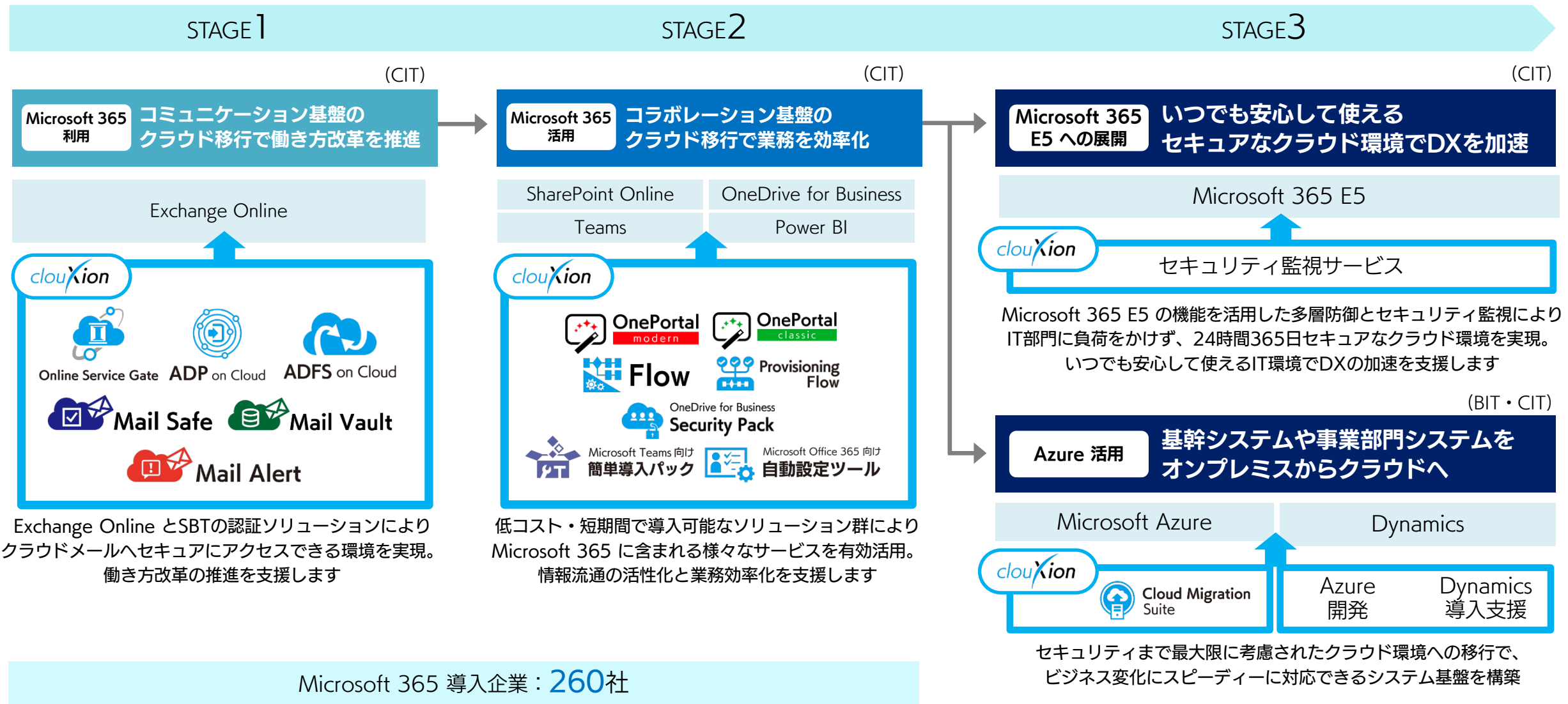


- ビジネスIT (BIT)**
- 事業部門との協創
  - 先端技術を活用した競争力強化
  - グローバル化の支援



- コーポレートIT (CIT)**
- 顧客IT部門の時間を創出
  - クラウド化、働き方改革を推進
  - セールスパートナーと連携

# 自社ソリューションによるクラウド移行シナリオ (BIT・CIT)



Microsoft 365 導入企業：260社

STAGE1  
clouXion  
導入企業  
**573社**

STAGE2  
clouXion  
導入企業  
**40社**

STAGE3  
導入企業  
**122社** (うち Azure開発 82件)

## クラウド関連

### マイクロソフト パートナー オブ ザ イヤー 6年連続受賞



- Internet of Things (IoT) アワード 受賞 (2019)
- Security and Complianceアワード 受賞 (2018)
- Cloud Productivityアワード 受賞 (2017)
- Messaging アワード、Public Sector アワード、Cloud Platform アワード (System Integrator) 3部門受賞 (2016)
- Cloud Platform コンピテシーアワード(System Integrator) Identity and Access コンピテンシー アワード 2部門受賞 (2015)
- Identity and Access コンピテンシー アワード 最優秀賞 受賞 (2014)
- クラウド パートナー アワード 受賞 (2012)

### Microsoft Worldwide Partner Award で 4冠受賞など



- Internet of Things Partner of the Year ファイナリスト (国内企業唯一) (2019)
- Collaboration and Content Partner of the Year ファイナリスト (国内企業初) (2017)
- Country Partner of the Year Award、Cloud Packaged Solutions、Messaging、Public Sector-Government アワード 受賞 (国内企業初4冠) (2016)

## セキュリティ関連



Imperva, Inc.  
Top Growth Partner Award 受賞  
(2017)



日本ネットワークセキュリティ協会  
JNSA賞 特別賞受賞 (2017)



マカフィー  
Partner Award 2016 2部門受賞



第27回 日経ニューオフィス賞  
オフィスセキュリティ賞 受賞  
(2014)



## その他



第7回日本HRチャレンジ大賞  
採用部門優秀賞受賞  
(2018)

### GOOD DESIGN AWARD 2018

次世代Webブラウザのテキストレイアウトに関する検討会の活動が、グッドデザイン賞を受賞。SBTは「FONTPLUS」の提供などで貢献。(2018)



Sitecore MVP Award  
Technologyカテゴリーで  
3名受賞(2020)



Sitecore MVP Award  
Technologyカテゴリーで  
4名受賞(2019)



Sitecore MVP Award  
2年連続 国内最多5名受賞  
(2018)



Sitecore MVP Award  
国内最多5名受賞 (2017)



Sitecore MVP Award  
受賞 (2016)

## 数字で見るSBT

SBT連結  
社員数 **1,068名**

生産性向上による残業削減

**42時間** → **23時間**  
2015年度 → 2019年度

SBT単体技術社員  
PMP保有者割合 **24%**  
(プロジェクトマネジメント国際資格)

20年新卒 (連結)  
**45名**

平均年齢  
**37.4歳**

2020年3月31日現在

## 社員の大きな成長が、SBTの大きな成長の原動力

当社では従業員全体の能力を高め、生産性の向上を推進しています。



### オン/オフ切替 (メリハリ)

- コアタイムなしフレックス制度
- PJコンプリート休暇



### 成長支援 (優秀な人材確保・維持)

- 新入社員グレードスキップ制度
- 資格取得支援



### ICT活用 (時間の削減と創出)

- 組織横断の情報共有
- Web会議、モバイル活用



全社員フレックスタイム制に移行、  
プレミアムフライデーも運用中



女性活躍推進法に基づく  
「えるぼし」認定の最高位取得

### 能力開発休暇の取得割合

2019年度 取得総日数：**347日**  
取得人数：**154人**

社員主動による  
テレワークも実現

## 資料留意事項

---

1. 一部のソリューションに関するサービス区分の見直しを行ったため、各サービス区分の前期以前の売上高及び限界利益の金額は現在の計上方法に則して算出しております。
2. 本資料に記載した各種グラフ内に表示している数値については、その端数処理の関係から、各種グラフ内の数値と決算短信に記載した数値に乖離が出ている場合があります。
3. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を2018年3月期第1四半期の期首から適用しております。

## 免責事項

---

本資料に記載されている計画、見通し、及びその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、様々なリスク及び不確実性が内在しています。実際の業績等は経営環境の変化等、様々な要因により、これら見通しと大きく異なる可能性があります。

また、本資料は当社グループの業績や事業進捗等に関する情報提供を目的としており、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

本資料に掲載されている会社名、ロゴ、サービス名等は、当社、当社グループ会社、または該当する各社の商標または登録商標です。

**情報革命で人々を幸せに**

**～ 技術の力で、未来をつくる ～**

**＝ SB Technology**